

令和 2 年度
第 2 回 神戸市夜間景観形成実施計画推進委員会

日時：令和 3 年 3 月 11 日(木) 14 時 00 分～

場所：三宮国際ビル 2 階 1 号室

《会議次第》

開会

1. 議 題

- | | |
|--------------------------|--------|
| (1) 地域団体等からの情報提供について | 【資料 1】 |
| ・三宮駅南・光のデッキ回廊委員会 | |
| (2) 各局取り組みおよび進捗状況の報告について | 【資料 2】 |
| ・(一財) 神戸観光局 | |
| ・都市局景観政策課 | |
| (3) 夜間景観形成支援制度について | 【資料 3】 |
| ・令和 2 年度夜間景観形成整備等助成について | |
| (4) 夜間景観形成実施計画の見直しについて | 【資料 4】 |
| ・最終(案) および概要版について | |
| (5) 夜間景観形成基準の策定について(案) | 【資料 5】 |
| ・基準(案) について | |

2. その他

閉会

神戸市夜間景観形成実施計画推進委員会 委員名簿（令和2年度）（敬称略・順不同）

区分	氏名	備考
学識経験者等	三輪 康一	神戸大学 名誉教授（委員長）
	福田 知弘	大阪大学大学院工学研究科 准教授
	長町 志穂	(株)LEM空間工房 代表取締役
	関口 幸明	神戸商工会議所 理事・地域政策部長
地域団体等	谷守 正康	フラワーロード沿道まちづくり協議会
	福浪 秀光	フラワーロード美緑花推進協議会
	南 嘉邦	旧居留地連絡協議会 都心づくり委員会 委員長
	施 蓮棠	南京町景観形成協議会 会長
	谷澤 広	みなと元町タウン協議会 神戸元町商店街まちなみ委員会
	渡辺 真二	メリケンパーク協議会 会長
事業者等	友成 光裕	ハーバーランド運営協議会 来街促進委員会 代表
	中 裕勝	阪神高速道路株式会社 計画部 道路環境室 担当課長
	近崎 雄一	JATA関西支部兵庫地区委員会 委員長
	小野 秀明	三宮駅南・光のデッキ回廊委員会 代表幹事

（オブザーバー）

（敬称略・順不同）

氏名	備考
加宮 義隆	関西電力(株) 地域エネルギー本部 地域エネルギー開発グループ
土谷 穰	国土交通省 神戸運輸監理部 総務企画部 企画課 課長

（幹事）

（敬称略・順不同）

氏名	備考
岡田 渉	企画調整局 つなぐラボ 創造都市担当課長
長谷川 功	行財政局 庁舎課 課長
安居 大樹	経済観光局 観光企画課 課長
瀬川 典康	建設局 道路工務課 課長
重藤 洋一	建設局 公園部 整備課 課長
山根 正利	建築住宅局 技術管理課 課長
白波瀬 浩司	港湾局 ウォーターフロント計画課 課長
大下 和宏	中央区 総務部 まちづくり課 課長
下辻 光輝	一般財団法人 神戸観光局 観光部 担当部長
清水 陽	都市局 都心再整備本部 都心再整備部 都心三宮再整備課 課長
上田 真己	都市局 景観政策課 担当部長（事務局）

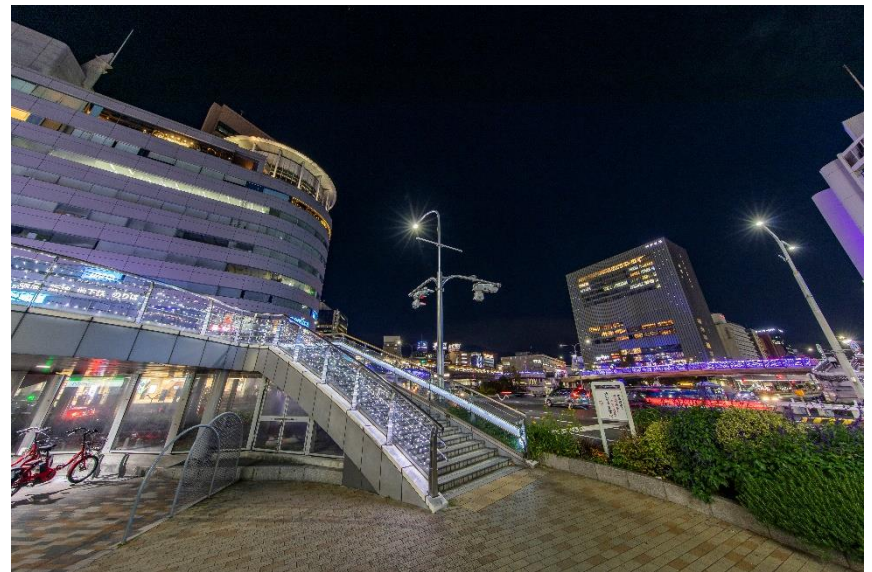
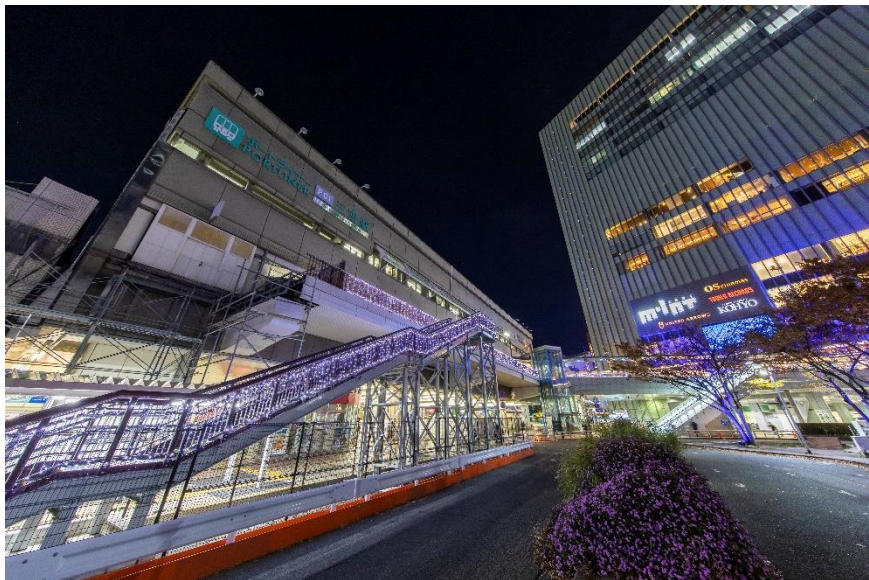
議題（１）

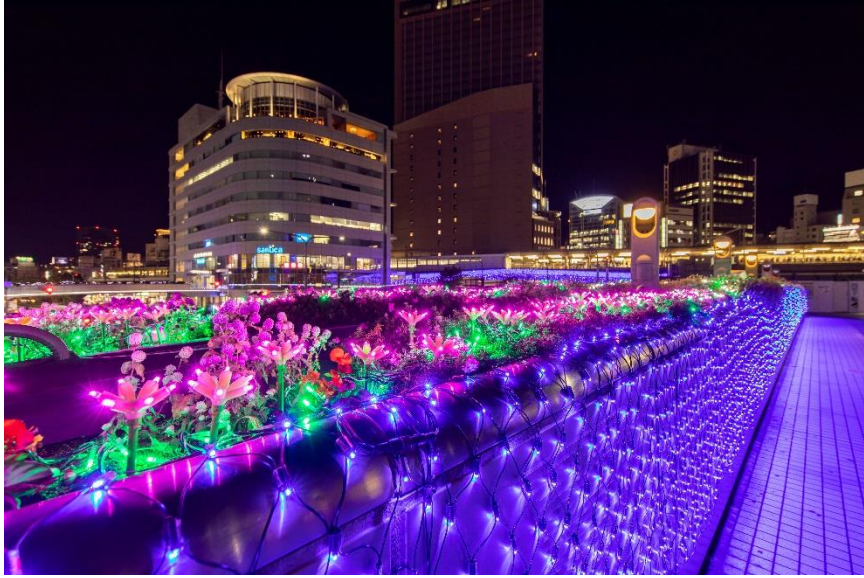
地域団体等からの情報提供について

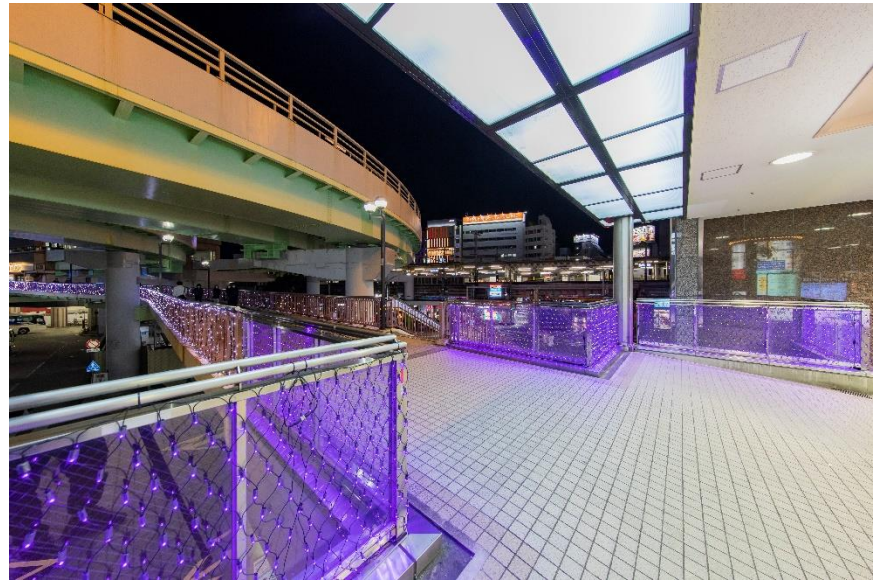
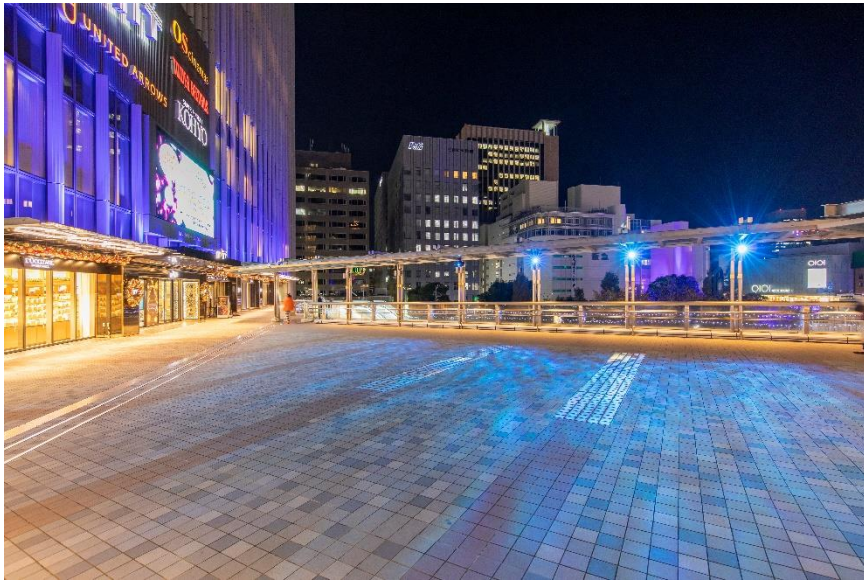
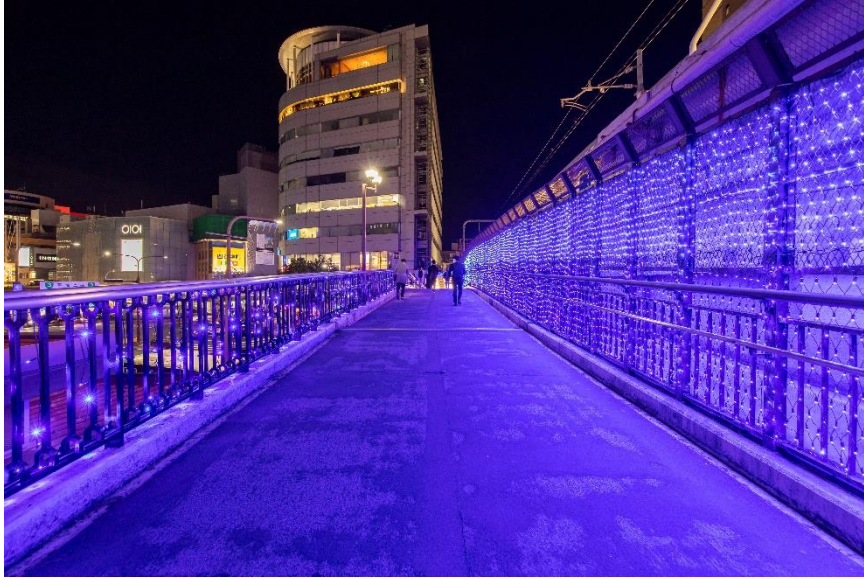
「～1,000mの光の回廊～ KOBE LIGHT MESSAGE in 2020 ～ECO ANGEL～」

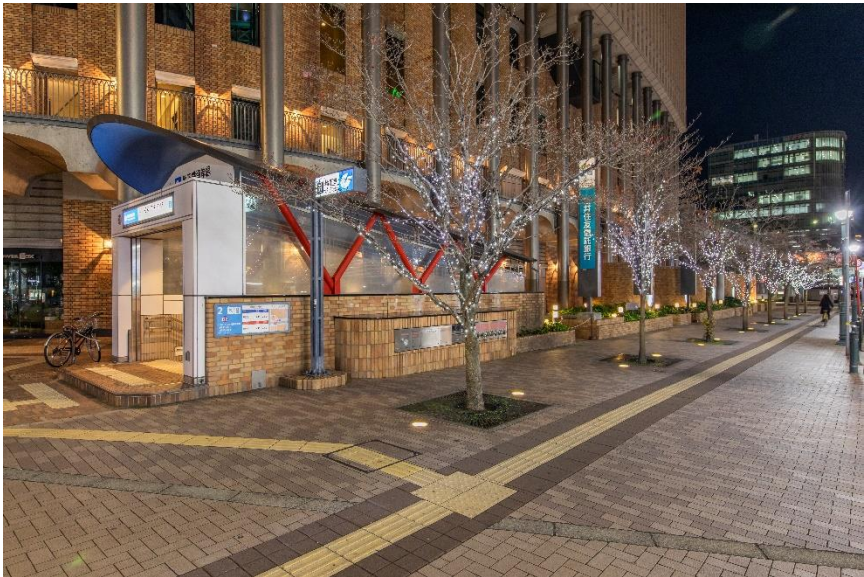
2020年11月20日(金)～12月25日(金)

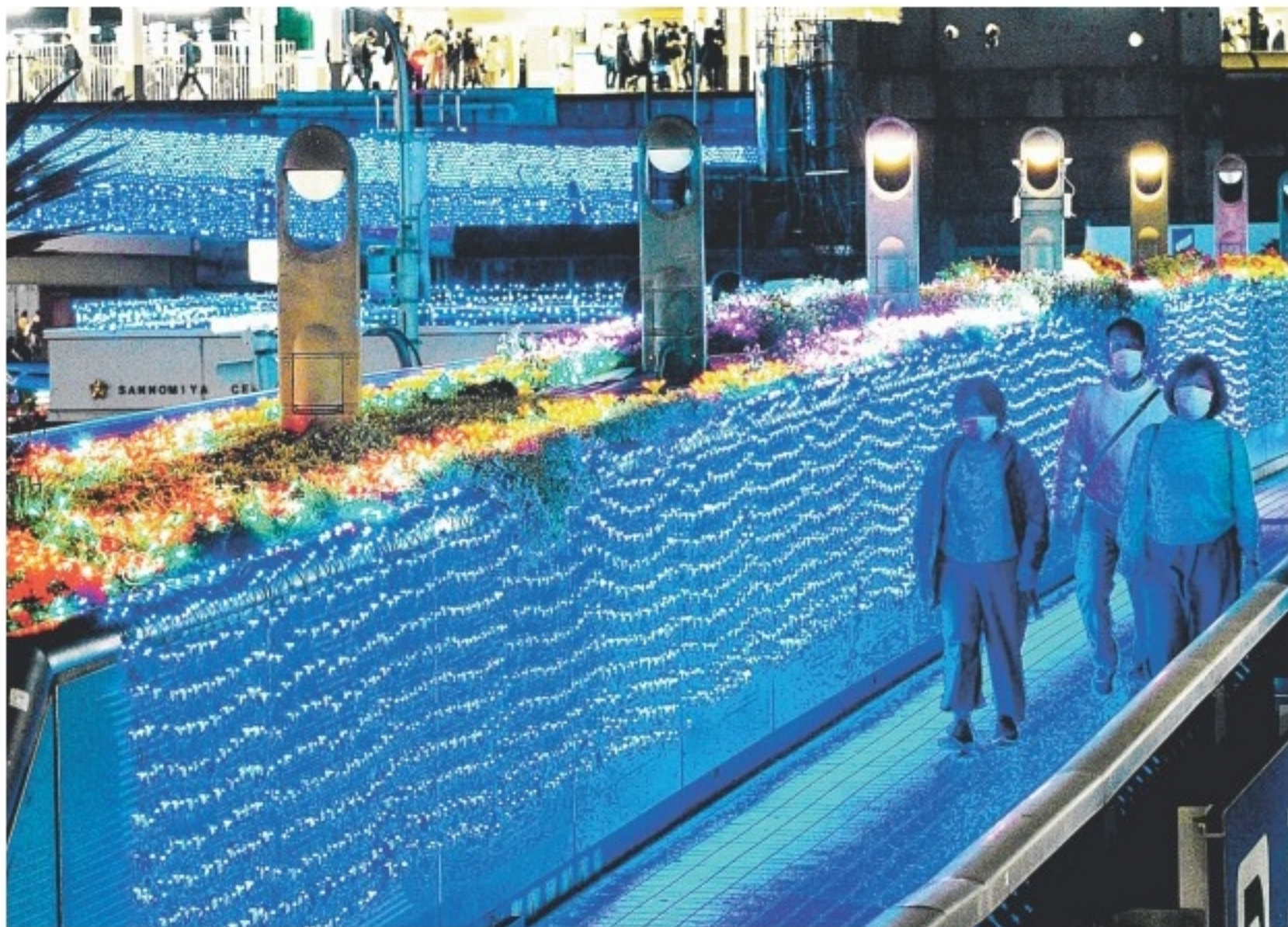
事業終了報告書











ライトアップされ
た歩道橋や植え込
み=18日夜、神戸
市中央区、JR三
ノ宮駅前



青の回廊 医療従事者へ感謝 三宮

10万個の発光ダイオード（LED）で神戸・三宮の街を照らす「1000社の光の回廊 KOBE LIGHT MESSAGE in 2020～ECO ANGEL～」の試験点灯が18日夜、JR三ノ宮駅南側で行われた。20日から12月25日まで、2階歩行者用デッキを彩る。

ミント神戸など近隣施設や鉄道会社でつくる「三宮駅南・光のデッキ回廊委員会」が毎年実施している。

今年は新型コロナウイルス感染症に対応する医療関係者への感謝を込め、4カ所の歩道橋をブルーライトで統一した。午後6時に光がともされると、幻想的な光景に行き交う人たちが立ち止まり、スマートフォンで撮影する姿もあった。

（後藤亮平、藤村有希子）

LED10万個でデッキや花壇彩り 光の回廊にカップルら歓声

光が彩る歩道橋を歩くカップル＝神戸市中央区小野柄通8



JR三ノ宮駅南

JR三ノ宮駅南の歩行者用デッキや花壇を約10万個の発光ダイオード(LED)で彩る「10000個の光の回廊」KOBELIGHT MESSAGE in

2020～ECCO AN GEL」が20日、始まった。青や白に輝く光の帯に、仕事帰りの人やカップルが歓声を上げていた。

ミント神戸など近隣施設や鉄道会社でつくる「三宮駅南・光のデッキ回廊委員会」が主催し、13回目。今年も、新型コロナウイルスに対応する医療関係者への感謝を込め、4カ所の歩道橋をブルーで彩った。

この日午後5時半、一斉に光がともされると、幻想的な光景に人々が立ち止まり、スマートフォンで写真や動画を撮影する姿も見られた。カップルで買い物に訪れた神戸市須磨区の大学生勝実乃里さん(21)は「歩道橋だけでなく、花壇まで装飾され、きれい。今年は

ルミナリエも中止になったからこんなイベントはうれしい」と笑顔を見せた。12月25日まで。点灯時間は午後5時半～同11時。

(坂井萌香)

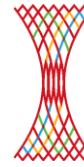
議題（２）

各局取り組みおよび進捗状況の報告について

記者資料提供（令和3年2月19日）

（一財）神戸観光局 観光部 下辻・政岡 TEL：078-230-1120

FAX：078-230-0808 e-mail：tourism_promotion@kcva.or.jp



KOBE TOURISM BUREAU
神戸観光局

～With コロナ時代からの滞在型観光の促進に向けて 神戸観光局と協働で実施する事業を募集します～ 公民共創事業の事業者募集について

一般財団法人神戸観光局（以下、神戸観光局）では、DMOとして公民連携により新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光需要の回復など、With コロナ時代における観光課題の解決を図るため、民間の発意とプレイヤー同士のコラボレーション等による新たなコンテンツ開発やプロモーション等により、With コロナ時代のみならず After コロナ時代も見越した神戸らしさを活かした滞在型観光の促進に資する新規事業の提案を募集し、協働で実施します。

1. 募集テーマ

募集テーマは、神戸の滞在型観光に資する取り組みとして、「①神戸夜市の開催」と、「②その他（①以外のもの）」とします。

提案については、「①神戸夜市の開催」又は「②その他（①以外のもの）」のいずれかを
選択のうえ1団体につき1事業までとし、重複してのエントリーは不可とします。

<テーマ①>「神戸夜市の開催」

（1週間程度、または一定期間（1か月程度毎週開催等）に渡って開催されるものを対象とします。）

（例）

- ・祭りや商店街並びに温泉等を活用した食体験等を組み合わせた夜市のコンテンツ開発
- ・食のイベントや音楽・映画のフェスティバル等と組み合わせた夜の賑わいづくり 等

<テーマ②>「その他（①以外のもの）」

（例）

- ・六甲山や海などの自然・夜景等を活用した周遊ラリー、アウトドアでの体験型観光（ヨガ、トレッキング、グランピング、果樹園等）などのコンテンツ開発
- ・宿坊体験や夜景鑑賞と食体験などを組み合わせたコンテンツ開発
- ・里山・農村地域での野菜植付け・収穫体験と古民家活用などの農泊体験、レンタサイクルでの現地周遊などのコンテンツ開発
- ・神戸ならではの観光資源（食、夜景、温泉等）を組み合わせた新たなコンテンツ開発 等

2. 事業実施期間

令和3年4月以降に実施する取り組みを対象とします。

なお、令和3年4月1日より後に事業の採択結果通知を弊局が行った場合においては、準備等で事業遂行上やむを得ない場合に限り、令和3年4月1日以降に既に購入・支払ったものも遡って対象とします。

3. 神戸観光局による支援について

(1) 事業費の負担

選定委員会において選定された事業者に対し、新規の事業の立ち上げ期（準備期間～開始初年度（令和3年度）～必要に応じ開始2年度（令和4年度））にかかるプロモーション及び初期調達等の経費の一部を下記の上限額の範囲内で神戸観光局が負担します。

また、自己資金を用いて事業を行うことを前提としますが、経費の一部負担年度終了後、事業者にて自走できることを目指します。ただし、「①神戸夜市の開催」については、令和3年度単年度限りの事業実施も可とします。

<負担金上限額>

「①神戸夜市の開催」・・・上限3,000千円
「②その他（①以外のもの）」・・・上限2,000千円

(2) プロモーション支援

市及び神戸観光局の媒体を活用し、プロモーション支援を行います。

(3) 関係者との調整

神戸観光局が共同実施者として、会員からの参画事業者の募集や各関係機関との調整支援を行います。

4. 募集要項の配布開始日・配布場所

●配布開始日：令和3年2月19日（金曜）

●配布場所：神戸観光局ホームページ内「お知らせ」 <https://kobe-dmo.jp/news/>

5. 公募スケジュール

令和3年2月19日（金曜）	公募要領配布・提案募集開始
令和3年2月19日（金曜）～2月25日（木曜）	質問書受付
令和3年3月2日（火曜）頃	質問に対する回答
令和3年3月9日（火曜）	提案書等書類提出締切※郵送又は持参
令和3年3月下旬	提案者審査会・事業者選定
令和3年4月以降～	選定事業者による事業の実施

6. 実施事業者の審査・選定

提案事業者からのプレゼンテーションにより応募内容に対する評価を行い、事業者を選定します。

7. 提出先・問い合わせ先

（一財）神戸観光局 観光部 政岡・黒田

住所：神戸市中央区御幸通6丁目1番12号三宮ビル東館9階

TEL：078-262-1916 FAX：078-230-0808

E-mail：tourism_promotion@kcva.or.jp

記者資料提供（令和2年11月24日）

（一財）神戸観光局 港湾振興部 長井・村本

TEL：078-327-8982

神戸市港湾局 振興課 岡田・白井

TEL：078-595-6283



あたらしい
ツーリズム



KOBE TOURISM BUREAU

神戸観光局



アジア初！神戸の夜空にレーザーアートが出現します

— GlobalRainbow @Kobe 2020 —

◆趣旨

一般財団法人神戸観光局は、神戸港ウォーターフロントエリアのさらなる魅力向上の取り組みとして、ニューヨーク/ベルリンを拠点として活躍する女性ビジュアルアーティスト Yvette Mattern（イヴェット・マターン）氏により独自開発された7色のハイパワーレーザーを使用した巨大なパブリックレーザーアート「GlobalRainbow（グローバルレインボー）」を神戸港内から六甲山系に向けて出現させます。

本作品は、これまでにアメリカ（ニューヨーク、ピッツバーグ、ニューヘイブン）、イギリス（ロンドン）、ドイツ（ベルリン）、スウェーデン（スモーゲン）など、世界の主要都市で展示されていますが、美しい神戸の港が本作品のイメージと重なり、アジア初の展示に至りました。



【海外での事例：2019年9月スウェーデンにて】



【神戸での照射イメージ】

◆実施概要

本事業は、中突堤やメリケンパーク等を中心に、広域および夜間なら期間中いつでも鑑賞できるスケールの大きな広域アート作品とすることで、観客が一か所に集中しない、公共交通機関が混雑しないなど、with コロナ時代の「新しい生活様式」を意識した観光施設・観光商品等のケーススタディとして、観光庁の「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」における実証事業（1次募集）に採択され、「あたらしいツーリズム」の一環で実施しています。

■名称：GlobalRainbow @Kobe 2020

■展示期間：令和2年12月4日（金曜）～12月13日（日曜）

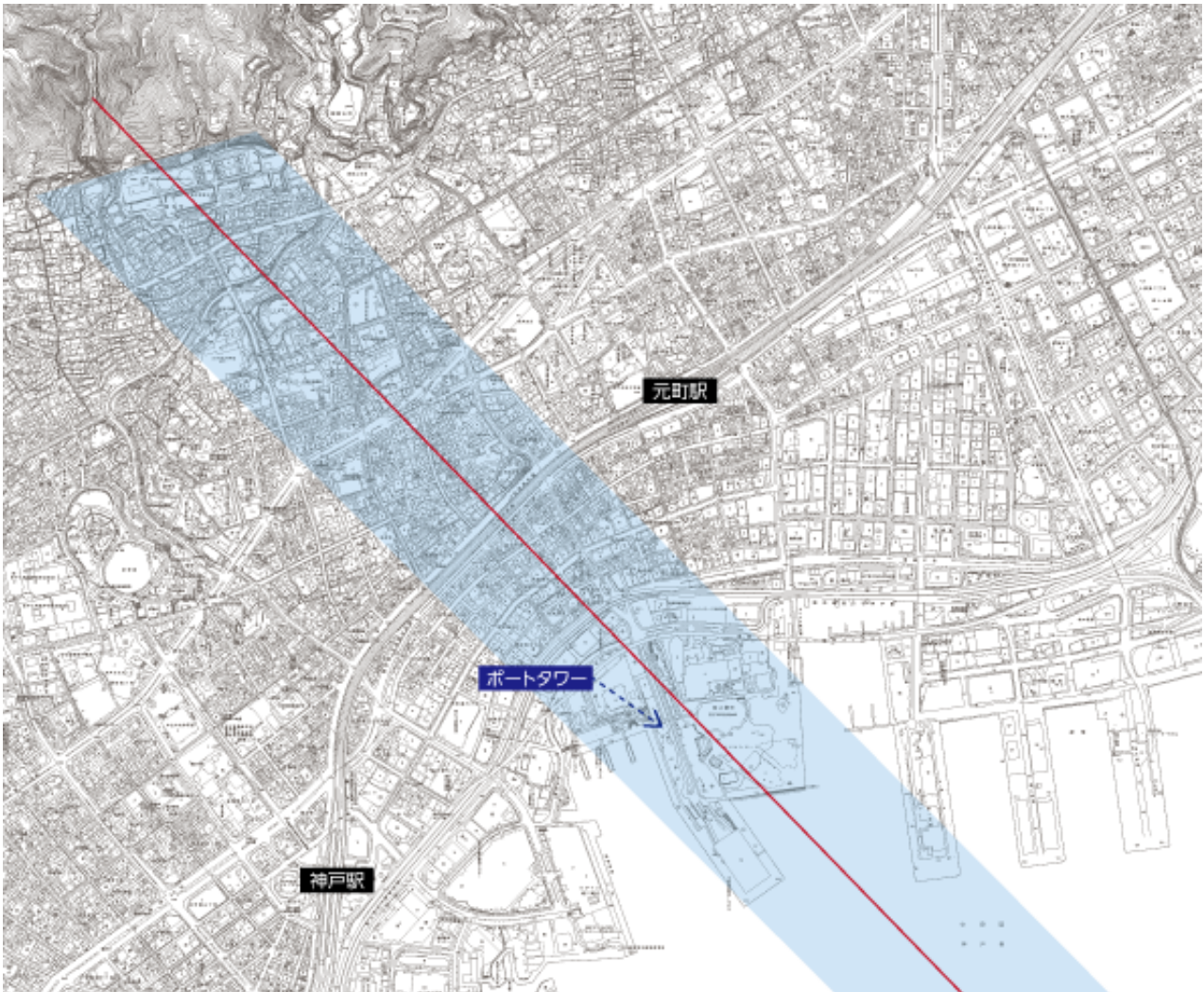
■照射時間：日没頃～21時

■主催団体：一般財団法人神戸観光局、神戸市港湾局

■協力：神戸学院大学、神戸港“U”パークマネジメント共同事業体、メリケンパーク協議会、阪神高速道路株式会社、兵庫森林管理署

■WEB：<https://globalrainbow-kobe.jp>

◆視認可能範囲予測



7色のレーザー（上図の赤色の直線）を中心に東西約300m幅の範囲で視認が可能と想定しています

◆注意事項及び一時中断・中止の判断

■下記の注意事項を守って鑑賞くださいますようお願いいたします。

- ・道路や横断歩道で立ち止まったの鑑賞、岸壁などの立ち入り禁止場所や私有地へ進入しての鑑賞は絶対に行わないでください。
- ・車道や路肩・歩道上などにおける車での鑑賞は、歩行者や他の車両への迷惑になるばかりでなく、事故につながる恐れがあり大変危険です。鑑賞に訪れる際は公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。
- ・マスク着用の上、ソーシャルディスタンスを確保し、鑑賞してください。
- ・混雑解消や安全確保のため、スタッフや警備員等の指示に従って行動してください。

■以下の場合、展示の一時中断・中止を行う場合がございます。

- ・荒天や災害などが発生した場合
- ・混雑状況が解消しない、安全の確保ができないと主催者が判断した場合

◆お問い合わせ先

神戸市事業・イベント案内センター

電話：078-333-3372（年中無休 8時00分～21時00分）

この資料は、市政記者クラブ・海運記者クラブ・経済記者クラブ・民放記者クラブに配布しております。

記者資料提供（2021年1月22日）
 市長室広報戦略部広報課 長尾・山本
 TEL：078-322-5085（内線 2208）
 Email：kouhoukikaku@office.city.kobe.lg.jp
 健康局政策課 三川・西田
 TEL：078-322-5256（内線 3314）
 Email：kenkousyomu@office.city.kobe.lg.jp

医療現場の現状を伝え、助かる命を助けるために メッセージ動画を制作し、 感染防止対策の徹底をさらに呼びかけます

政府の「緊急事態宣言」が兵庫県を含む7府県に発出され、本市においても、新規感染者が多数発生する状況が続いております。このままでは、本市の医療提供体制が限界を超えてしまう可能性があります。今ここで感染拡大を食い止め、市民のみなさまの生命・健康を守るとともに、医療崩壊を防がなければなりません。

また、「緊急事態宣言」の発出以降、夜間（21時～24時）の三宮への人出は減少傾向にありますが、4月の「緊急事態宣言」時と比べると日中の人出はまだまだ多い状況にあります。

本市においても、引き続き医療・検査・相談体制を確保し、新型コロナウイルス感染症対策を最優先とした対応を行っていくとともに、感染防止対策のさらなる徹底を動画やSNSを活用して市民の皆様呼び掛けていきます。

1. メッセージ動画の制作

神戸市立医療センター中央市民病院や保健所で働く職員が医療現場の現状を伝えるメッセージを、youtubeなどを活用して発信します。

なお、動画の出演者への取材はお受けできません。

【メッセージ動画】

- 「手を伸ばしても届かない距離で～自分と周囲の命を守るように～」
 神戸市 健康局担当部長 山崎 初美



動画URL：<https://youtu.be/dCNHG6rppHs>

- 「コロナはただの風邪ではありません～重症化リスクを考えて～」
 中央市民病院 感染症科 医長 犬井 朝子



動画URL：<https://youtu.be/5NdA8SuuCnw>

- 「家族以外との会食を避けてください～感染者数を減らすという強い決意で～」
中央市民病院 看護部 部長 藤原 のり子



動画URL : <https://youtu.be/lZi2GzQZ9Z0>

2. SNSを活用した情報発信

普段の生活で気を付けるべき感染防止対策を、若い世代へ改めて注意喚起していくため、Twitter や Instagram などの SNS を活用し呼びかけます。

【注意喚起デザインイメージ】



3. ライトアップも時間短縮 (協力施設の追加)

緊急事態宣言の発令に伴う飲食店等に対する営業時間短縮要請に合わせて、ライトアップも時間短縮しています。この度、下記施設が新たに加わり、緊急事態宣言発令期間中は、20時に消灯します。

【新たな施設】

- ・ハーバーランドガス灯通り
- ・かもめりあ
- ・神戸大橋
- ・新川プロムナード (兵庫運河)
- ・明石海峡大橋

【既実施施設】

- ・「BE KOBE」モニュメント (メリケンパーク、ポーアイしおさい公園)
- ・モザイク大観覧車 (メッセージの発信も実施)
- ・神戸ポートタワー
- ・神戸海洋博物館
- ・メリケンパーク内の一部照明
- ・神戸ポートターミナル

議題（3）

夜間景観形成支援制度について

令和 2 年度 夜間景観形成支援制度 実績報告

◆夜間景観形成整備等助成

No.1	～1000mの光の回廊～KOBELIGHT MESSAGE in 2020 ～ECO ANGEL
場所	三宮駅南・光のデッキ回廊
申請者	三宮駅南・光のデッキ回廊委員会 松下 秀司
実施期間	2020年11月20日～2021年12月25日
実施状況	別紙 1-1 参照

◆夜間景観形成アドバイザー派遣

No.1	
場所	中央区三宮町 2 丁目 9-13
申請者	三宮センターサウス町おこし会
アドバイザー	川端 章彦 氏 (dpa lighting consultants Japan LLP)
派遣回数	1 回 (12 月 18 日開催) ※第 2 回は 3 月中旬に開催予定
目的及び内容	夜間景観形成に向けた勉強会 

議題（４）

夜間景観形成実施計画の見直しについて



神戸市夜間景観形成実施計画

—— 都心・ウォーターフロントエリア ——

(案)



令和3年3月
神戸市

第1章 計画の基本的な考え方



1. 計画策定の趣旨

「一千万ドルの夜景」として親しまれている神戸の夜間景観は、日本を代表する夜景の一つです。その神戸らしい夜間景観に、さらにみがきをかけ、「デザイン都市・神戸」の都市ブランド力を高めるため、優先的に取り組みを進める地区を選定しながら、具体的な施策をまとめた実施計画を策定し、市民・事業者・大学等・行政が連携した取り組みを進めていきます。

また、夜間景観形成の取り組みを進めていくことにより、“滞在型観光の促進”や“産業・文化の振興”にも寄与していきます。

2. これまでの取り組みの現状と課題

神戸市における夜間景観形成の取り組みについては、ポートタワーなどのランドマークや歴史的建造物のライトアップ、「神戸ルミナリエ」に代表される光のイベントの開催などをはじめ、行政だけでなく、民間事業者や地域団体においてもさまざまな取り組みが進められてきました。

また、平成16年3月にはこれらの取り組みを体系的に整理し、神戸市全体での基本方針や取り組みの方向性をまとめた「神戸市夜間景観形成基本計画」を策定し、順次取り組みを進めてきました。

平成24年にはさらなる夜間景観形成の推進に向け、神戸市全体での夜間景観形成のあり方と施策の方向性についてまとめた、重点エリア（都心・ウォーターフロント地域等）における今後5ヶ年の中期計画として、本計画である「神戸市夜間景観形成実施計画（以下、実施計画）」を策定しました。

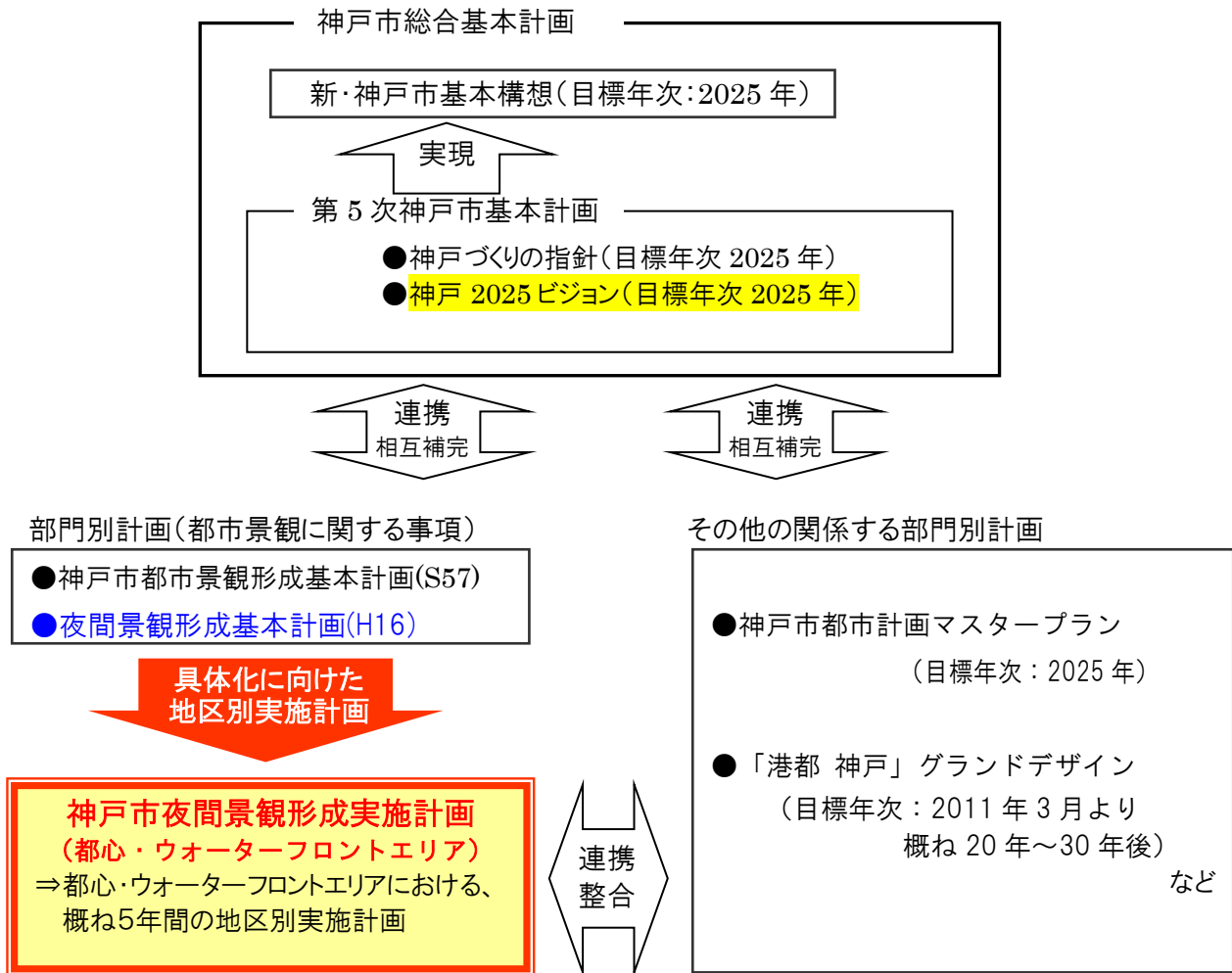
その結果、実施計画に基づき各地区が連携しながら、良好な神戸らしい夜間景観形成を図ってきましたが、さらに、神戸市としての新たな取り組みや周辺自治体の動向、昨今の社会経済情勢などを踏まえ、さらなる良好な夜間景観形成の推進に向けて、次のような考え方が求められています。

- 都市間競争が激化するなかで、「デザイン都市・神戸」として戦略的に都市ブランド力を高めていくため、選択と集中により施策を実施していく必要がある。
- 省エネルギー、再生可能エネルギー導入など低炭素社会、循環型社会の実現に向けた取り組みに対する重要性が改めて再認識されている昨今の状況をふまえ、環境負荷の少ない持続的発展が可能なまちづくりの推進がより一層求められている。
- 魅力的な夜間景観の発掘を行い、神戸夜景の魅力を広くPRする方法として、ホームページでの情報発信の充実や、SNS等を活用した情報の発信がより一層求められている。
- さらなる魅力向上のための新たな照明設備の設置やイベントの実施に加えて、これまで実施してきた夜間景観の演出を継続させるために、照明設備等の維持管理体制の充実が必要である。

3. 計画の性格

(1) 計画の位置付け

「神戸市夜間景観形成実施計画（都心・ウォーターフロントエリア）」は、神戸市全体での夜間景観形成のあり方と施策の方向性についてまとめ、平成16年3月に策定した「神戸市夜間景観形成基本計画」に基づき、今後概ね5カ年において特に重点的に取り組むべき都心・ウォーターフロントエリアでの具体的な施策をまとめた地区別実施計画です。

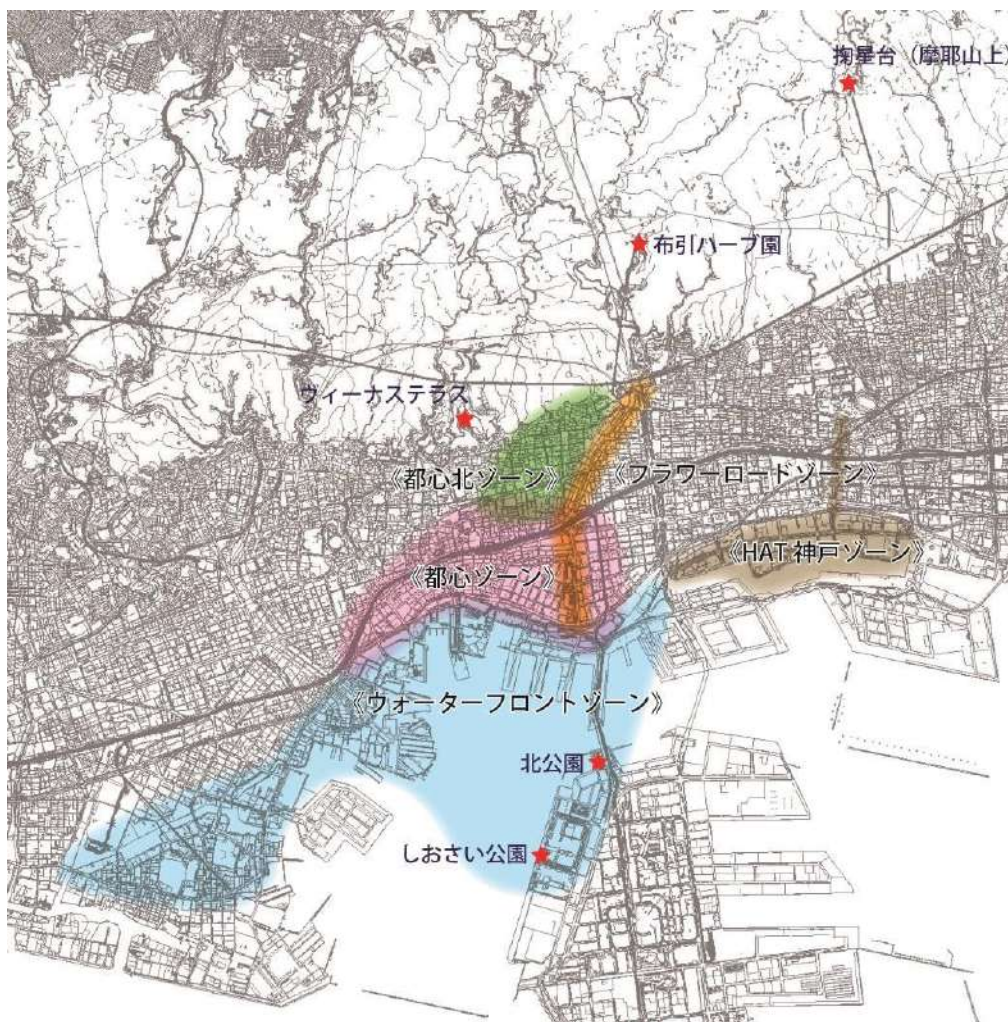


(2)計画の対象エリア

本計画での対象エリアは、市内外からの来訪者が多く、滞在型観光の促進に向けてより効果が高いと思われる、また、神戸の魅力を実効的に発信できると思われるエリアである、三宮からハーバーランドまでのJR以南を中心に、HAT神戸や北野・トアロード・**県庁・兵庫運河**周辺なども含む「都心・ウォーターフロントエリア」とします。

対象 エ リ ア	フラワーロードゾーン	都心の骨格を形成するメインストリートゾーン
	都心ゾーン	みなとへつながる都心の観光・商業ゾーン
	ウォーターフロントゾーン	神戸港を取り囲む海辺のゾーン
	都心北ゾーン	都心山麓部に広がる観光・商業・住宅混在ゾーン
	HAT神戸ゾーン	海辺の新都心に広がる業務・文化・住宅エリア

【対象エリア図】



(3)計画の目標年次

本計画の目標年次は、神戸市全体での短期的な実行計画として策定している「**神戸2025ビジョン**」の目標年次と同じ**2025年（令和7年）**とします。ただし、短期的には実現が難しくても、中・長期的な視点で取り組むべき施策については、その大まかな取り組み方針を示すものとします。なお、本計画は平成23年度に策定し、平成27年度に評価検証を行った後、令和2年度に改定しました。

第2章 基本方針



1. 重点テーマの設定

本計画においては、これまでの取り組みでの課題や、昨今の社会経済情勢をふまえ、次にあげる『重点テーマ』を設定しながら、具体的な施策・事業を位置付けていくものとします。

(1)空間づくりのテーマ

★『光の質の向上』

神戸には、多くの自然・歴史・文化的資源があり、また、「一千万ドルの夜景」と称されるように、すでにさまざまな夜景資源もあります。

そのため、それぞれの地区での地域特性に応じた『光のコンセプト』を設定し、街路樹や花壇、モニュメントなどを活かすフラワーロードでの照明整備や、ライトアップ施設の照明リニューアルなど、既存の資源を活かしながら、その一つ一つの質を高める光の演出を行います。

また、電球色を基調とした温かみのある夜間景観形成を図ります。

★『引き算のデザイン』

夜の街を歩いていると、明るすぎる光により、せっかくのきれいな夜景が、見えにくくなっている場合もあります。

そのため、公共空間の照明改善や、地域での夜間景観のルールづくりなどにより、不要な光を無くし、主役を引き立たせるような夜間景観をつくっていきます。

★『環境への配慮』

低炭素社会、循環型社会の実現に向けた取り組みに対する重要性が改めて再認識されています。

そのため、公共空間の照明改修時にLEDなどの省エネ器具を採用するなど、ハード施策全般において、省エネ器具の採用や、太陽光、風力など自然エネルギーの活用を進めることにより、地球にやさしい光環境をつくっていきます。

(2)進め方のテーマ

★『市民・事業者・大学等・行政の協創』

夜間景観形成に関するハード・ソフト両面でのさまざまな取り組みを進めていくためには、市民や地域団体、建物を所有・管理する事業者、大学等、行政が連携しながら、ともに力を合わせて取り組んでいくことが重要です。

このため、地域団体や事業者、行政が集まった推進組織をつくり、各事業実施主体がそれぞれの役割をはたしながら、さらに、それらの取り組みをつなげ、『市民・事業者・大学等・行政の協創』による総合的な取り組みを進めていきます。

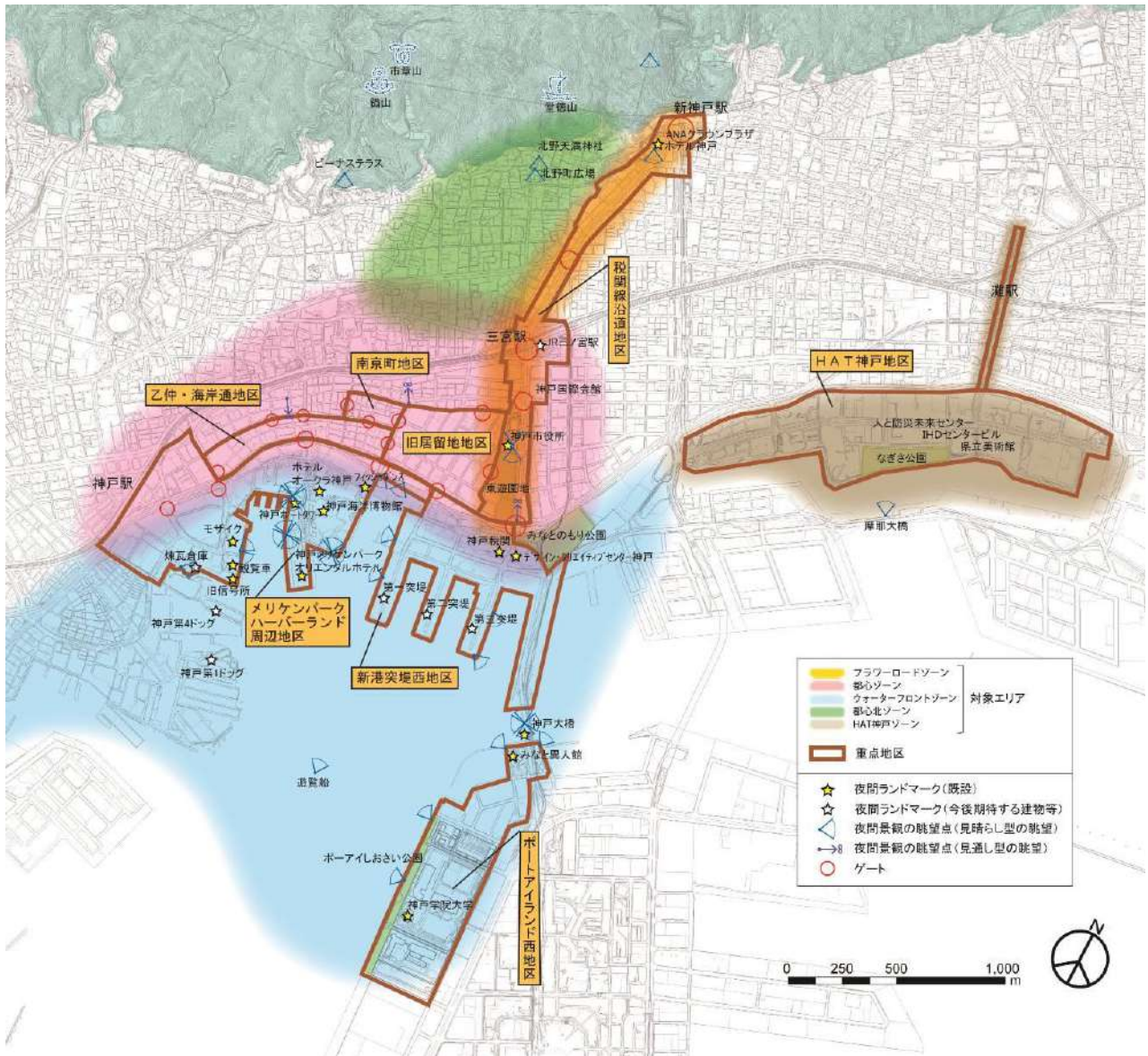
2. 重点地区の設定

本計画の対象エリアのうち、景観関連法令に基づく現在の位置付けや取り組みの進捗状況、また、取り組みを進めることによる本計画の「目的・ねらい」に対して期待される効果などを考慮し、特に優先的に取り組むべき地区として、以下の8地区を『重点地区』に位置付けます。そして、それぞれの地区ごとに『光のコンセプト』を定め、具体的な施策を検討・実施していきます。

【重点地区(8地区)】

「税関線沿道地区」	神戸を代表する道路軸であるフラワーロードを擁する地区
「旧居留地地区」	質の高いレトロな建築群や店舗群で構成された、神戸を代表する落ち着いた風格のある地区
「南京町地区」	古くから中国雑貨・飲食店・食料品店などが軒を連ねる、中国風情緒豊かな地区
「乙仲・海岸通地区」	おしゃれで個性的な店舗が建ち並び、レトロな雰囲気演出する地区
「メリケンパーク・ハーバーランド周辺地区」	ポートタワーや神戸海洋博物館等があり、みなと神戸の賑わいと活気ある夜景のシンボリックな地区
「新港突堤西地区」	“新たな創造産業複合ゾーン”として、みなと神戸の新たな親水空間の創出を推進する地区
「ポートアイランド西地区」	コンテナバース跡地に大学や公園が整備され、潤いのある親水空間に生まれ変わった地区
「HAT神戸地区」	ハーバーウォークや県立美術館などがあり、水際空間の開放性や親水性を活かした、海とアートを感じられる地区

【重点地区】

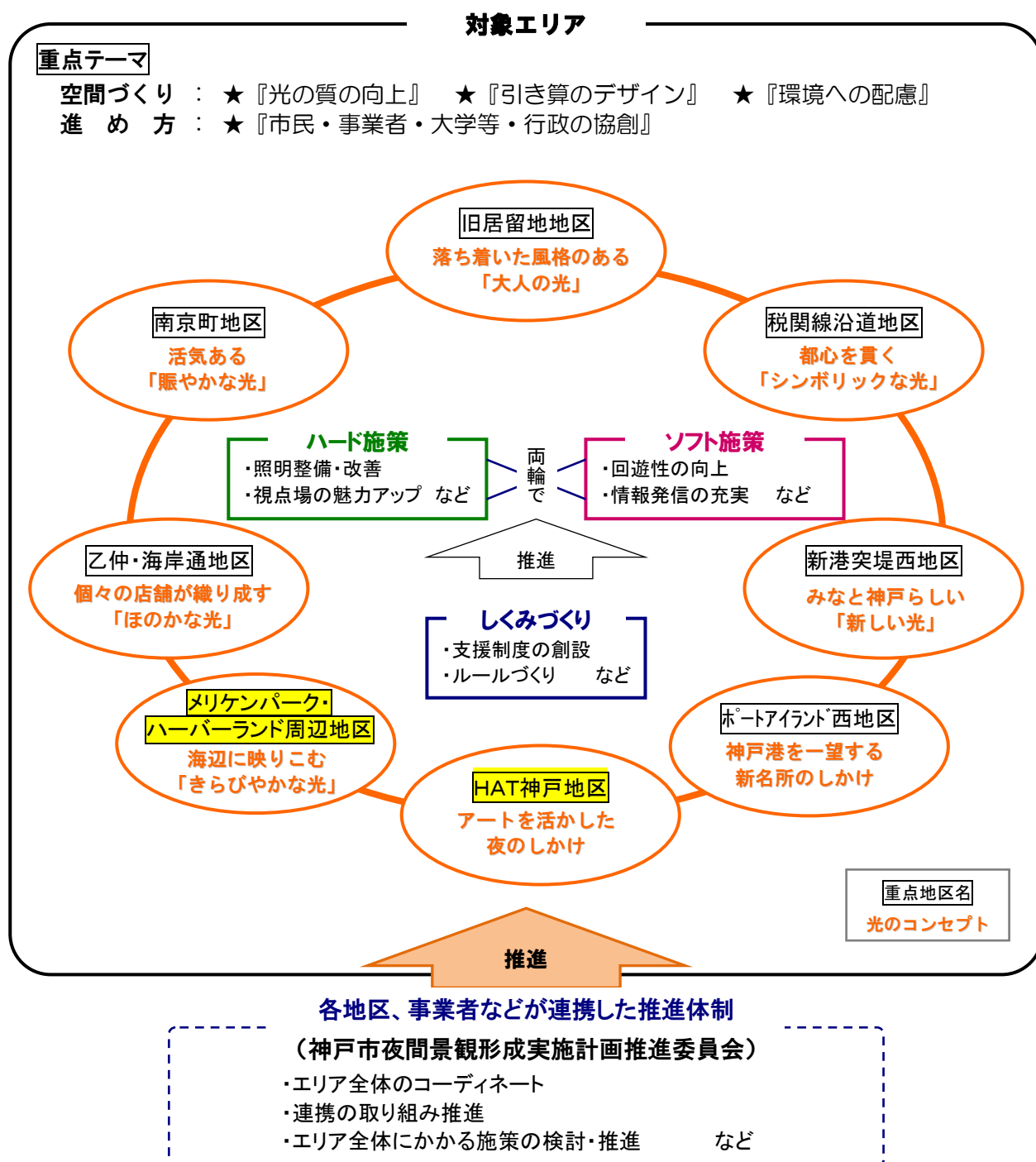


3. 実施計画に位置付ける施策・事業の選定

計画に掲げる目的を達成するためには、地域資源を活かした光の演出や道路照明の改善など「ハード施策」だけでなく、それらを活かす賑わいのしかけづくりなどの「ソフト施策」、さらには、それら施策を推進していく「しくみづくり」が重要になってきます。

本計画全体での『重点テーマ』や各重点地区における『光のコンセプト』に沿った、今後概ね5カ年で優先的に取り組むべきハード・ソフト両面での具体的な施策・事業を本計画に位置付け、地域団体や事業者、大学等、行政が連携しながら、取り組みを進めていきます。

ただし、今後概ね5カ年では実現が難しくても、中・長期的な視点で取り組むべき施策については、その取り組み方針を示していきます。



第3章 取り組む施策・事業



第1章 基本的な考え方

第2章 基本方針

第3章 取り組む施策・事業
【税関線沿道地区】

第4章 実現に向けて

1. 重点地区での取り組み

(1) 税関線沿道地区

【現状】

- ◎神戸を代表するメインストリート・フラワーロードを擁する地区。
- ◎フラワーロードには景観資源（花・植栽・芸術彫刻群）が数多く配置されており、昼間においては、その名にふさわしいシンボルロードとなっている。
- ◎JR新神戸駅から、都心の中心・三宮を南北に貫くフラワーロードは市街地の骨格を形成する都市軸夜間景観として非常に重要である。
- ◎フラワーロードでは「光のミュージアム」による統一された照明整備が順次実施されており、JR三ノ宮駅の高架下も同様の光のコンセプトで整備が実施された。
- ◎神戸の歳時記にあわせた光の演出「KOBE ライトアップ DAY」にあわせ、カラーライトアップが「フラワーロード光のミュージアム」で実施されている。

【課題】

- 樹木や彫刻、モニュメントなど数多くの景観資源は、「フラワーロード光のミュージアム」のエリアとして演出されているものもあるが、夜間の景観資源として活用されていないものも残っている。
- 「光のミュージアム」による統一された照明が実施されつつあるが、未実施の部分は暗く感じるところが多い。
- JR新神戸駅前については、神戸の玄関口として“おもてなし感”のある修景整備が望まれる。



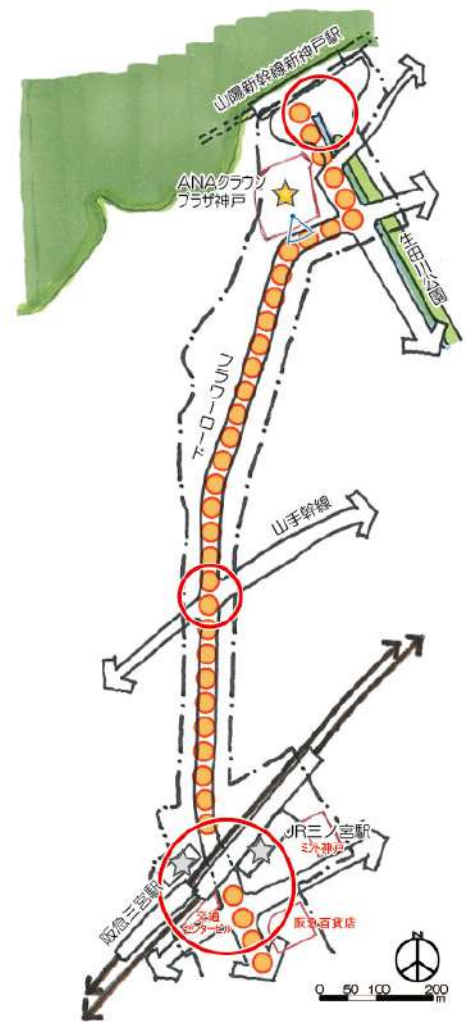
■光のコンセプト

★都心を貫く「シンボリックな光」の演出

〈取り組みの方向性〉

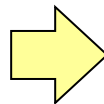
- ◆神戸の都市軸であるフラワーロードは「光のミュージアム」の実施により、電球色を基調としつつ、KOBE ライトアップ DAY を牽引する、メインロードとしてふさわしい光の演出を実現します。
- ◆税関線全体としての一体感をだしながらも、三宮クロススクエア部、北側エリア（JR新神戸駅～JR三ノ宮駅）と南側エリア（JR三ノ宮駅～国道2号交差点周辺）でのそれぞれの特徴を活かした、魅力的な夜間景観形成を推進します。
- ◆主要な道路、線路、高架道路などとの交差部は、ゲート景観としての魅力的な光の演出をめざします。

■取り組みイメージ図



- | | | | |
|------|------------|---------------------|-----------|
| 【凡例】 | 地区の骨格を表す通り | ゲート | アイスストップ |
| | 主要な通り | 交点 | 見晴らし型の眺望点 |
| | 眺望路 | 夜間ランドマーク(既設) | 見通し型の眺望点 |
| | 重点地区の区域 | 夜間ランドマーク(今後期待する建物等) | 主な公園など |
| | | | ライトアップ建築物 |

■修景イメージ



(現況)

(修景イメージ)

◆凡例の説明

記号	名称	説明
	地区の骨格を表す通り	地区内の骨格となり、他の地区へのつながりも意識した魅力的な夜間景観の形成を推進すべき、最も重要な通り。
	主要な通り	地区内の魅力的な夜間景観を形成する上で、主要な役割のある通り。
	水際プロムナード	夜間の魅力的な水際景観の連なりを楽しみながら回遊できる歩行者動線。
	眺望路	視線のぬける空間を確保することにより、山や海、ランドマークなど視対象を眺望する道路など。
	ゲート	地区の入口であることを印象づけ、地区の顔となるような魅力的な夜間景観の形成を推進する場所。
	交点	主な通りが交わる交差点。ゲート景観に準じ、魅力的な夜間景観の形成を推進する場所。
	夜間ランドマーク（既設）	遠景からでもよく見え、既に魅力的な夜間景観を形成している建築物や工作物など。
	夜間ランドマーク （今後期待する建物等）	今後、夜間ランドマークとして、魅力的な夜間景観の形成を期待する建築物や工作物など。
	アイストップ	見通した視線の先に留まる魅力的な夜間景観を形成しているポイント。
	見晴らし型の眺望点	海や山と街を一望できる広範な広がりのある眺望が臨める視点場。
	見通し型の眺望点	河川や道路などの都市軸の先に海や山を臨む視点場。
	主な公園など	比較的面積の広い公園や、重要な広場など。
	ライトアップ建築物	夜間にライトアップされている建築物など。

※これらの資源を新たに創造・活用しながら、魅力的な夜間景観の形成を進めます。

■ 具体的施策

● ハード施策

◆ フラワーロードの照明整備 「光のミュージアム」【行政】

フラワーロードのシンボルである「花」「緑」「彫刻」を活かし、ライトアップなどによる「光のミュージアム」をテーマとした道路空間を創出するとともに、軸性の演出や回遊性の向上をはかります（一部区間整備済）。

また、光源にはカラーLEDを採用し、色が可変する演出プログラムの実施を進めます。



街路樹・花壇・彫刻のライトアップなど

◆ 三宮クロススクエア部の光の演出【事業者・行政】

洗練された照明や沿道建築物から漏れ出る明かりにより、通りへのにぎわいの連続性を演出することで、神戸の玄関口にふさわしい上品な夜間景観を演出します。

◆ 鉄道高架下・歩道橋などへの光の演出【事業者・行政】

景観の連続性を分断している鉄道高架下や高架道路下、歩道橋などを、ライトアップなどによりゲート景観として演出し、回遊性の向上をはかります。



鉄道高架下のライトアップ

◆ 東遊園地などの照明整備【行政】

フラワーロード沿道にある東遊園地（花時計を含む）などの公園や広場についても、道路と一体となった魅力的な照明整備を進めます。



東遊園地の照明改善



花時計の照明改善

◆ JR新神戸駅前の照明整備【事業者・行政】

神戸の鉄道での玄関口であるJR新神戸駅前について、都市軸である生田川沿いの樹木や生田川公園を光で浮かびあがらせるなど、“お出迎え”の気持ちを表現するような印象深い照明整備を検討します。



生田川沿いの樹木のライトアップ
(イメージ)

● ソフト施策

◆ 夜間の都心を楽しめるしかけづくり【地域団体・事業者・行政】

都心でのジョギングや散歩など、長期滞在観光客や都心居住者が夜間のアクティビティを楽しめるよう、神戸の歳時記に併せた光の演出「KOBE ライトアップ DAY」での特別ライトアップの実施、夜間ウォーキングコースの設定・PRなどのしかけづくりを進めます。



まち歩きイメージ(ニューヨーク)

また、人が集まるような物語性のあるしかけを創り出すなど、新たな名所づくりに取り組んでいきます。

● しくみづくり

『光のコンセプト』に沿った地区毎の特色ある夜間景観の形成に向け、景観誘導の手法や「引き算のデザイン」など重点テーマを反映した具体的な内容、その運用方法などについて、地域団体の皆さんとともに「まちのあかりのガイドライン」としてとりまとめました。今後は、ガイドラインに基づく運用・実践を継続します。

【まちのあかりのガイドライン（税関線沿道北地区・税関線沿道南地区）】

◎ 税関線沿道北地区

【基本目標】

- ・ 上品な落ち着き
- ・ 明るさ感と温かみ
- ・ やすらぎと安心感

◎ 税関線沿道南地区

【基本目標】

- ・ みなとまち神戸の玄関口を飾る、上品で賑やかな光を演出する
- ・ みなとまち神戸へ導く、いざないの光を演出する
- ・ みなとまち神戸を楽しむ、もてなしの光を演出する



(2)旧居留地地区

【現状】

- ◎開港以来外国人居留地として発展し、質の高いレトロな建築群や店舗群で数々の通りが構成されており、神戸を代表する「落ち着いた風格のあるまち」である。
- ◎建物やショーウィンドウのライトアップも各所で施されており、**期間限定の特別色ライトアップイベント開催へ展開するなど、**夜間景観としても良好である。
- ◎**京町筋及び外周道路以外の地区内の街灯は電球色 LED 照明に改修された。**
- ◎**ナイトマーケットなどの夜間イベントも実施されている。**

【課題】

- 道路照明の**電球色への改修**については、**京町筋及び外周道路部が未整備であり、継続的な改修への取り組みが望まれる。**
- 物販店の閉店時間は早く、閉店後の**あかりに留意している店舗も一部にはあるが、地区全体に広がるよう継続的な活動が望まれる。**
- ライトアップ建築物の未点灯建物について、再点灯の働きかけが必要である。**



■光のコンセプト

★落ち着いた風格のある「大人の光」の演出

〈取り組みの方向性〉

- ◆**地区全体で統一された電球色**での光の演出をめざし、道路照明だけでなく、**建物の照明や**街路樹なども含め、まち全体として一体感が出るような夜間景観形成を推進します。
- ◆主要な道路の両端は、地区への入口として“まちの顔”となるように、また、人を引き付け、先へと歩きたくなるアイストップとなるように、ゲート景観の光の演出をめざします。
- ◆店舗などから漏れるあかりを活用し、夜のそぞろ歩きが楽しめる、豊かにぎわいのある仕掛けづくりを推進します。

■取り組みイメージ図

第1章 基本的な考え方

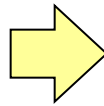
第2章 基本方針

第3章 取り組み施策・事業
【旧居留地地区】

第4章 実現に向けて



(現況)



(修景イメージ)

■ 具体的施策

● ハード施策

◆ 公共空間の照明改善【行政】

必要な明るさは確保しつつ、『光のコンセプト』に従いながら、路線ごとに照明の色味の統一をはかっていくとともに、器具を更新する際はLEDなど省エネ器具の採用をはかります。

(京町筋及び外周道路以外は電球色LED照明に改修済み)

また、街路樹などの既存資源を活かした光の演出についても、既存照明の改善とあわせて検討していきます。



● ソフト施策

◆ 大人が楽しめる落ち着いた夜の情景づくり【地域団体・事業者・行政】

風格あるまちの夜を楽しんでもらえるよう、飲食店や物販店への営業時間延長への働きかけを行うほか、ショーウィンドウの閉店後の点灯やライトアップ建物の中でライトアップを取りやめている建物への働きかけ、「KOBE ライトアップDAY」への協力、オープンスペースを活用したオープンカフェ、街角コンサートの促進など落ち着いた雰囲気で大人在楽しめる情景づくりを進めます。



ナイトカフェ(大丸前)



ショーウィンドウ
(マールブルグ)

● しぐみづくり

『光のコンセプト』に沿った地区毎の特色ある夜間景観の形成に向け、景観誘導の手法や「引き算のデザイン」など重点テーマを反映した具体的な内容・運用方法などについて、地域団体の皆さんとともに「夜間景観ガイドライン」としてとりまとめました。今後は、ガイドラインに基づく運用・実践を継続します。

◎ 旧居留地が目指す夜間景観

～ “光” と “影” による、夜の街並みの演出～

- 風格を醸し出す
- 賑わいを演出する
- 街のまとまりや組み立てを表現する



(3)南京町地区

【現状】

- ◎神戸港の開港にともなって中国系在留民の居住地として形成され、古くから中国雑貨・飲食店・食料品店などが軒を連ねる、中国風情緒豊かな地区。各商店が中華街らしい雰囲気の中でも独自の個性を主張することで、地区の賑わいにつながっている。
- ◎あずまやや楼門、長安門のライトアップが改善され、中国風情緒あふれる個性的な夜間景観が形成されている。
- ◎期間限定で行われているランタンフェアでの通りへのランタン照明による連続した灯りの演出は、きわめて良好な夜間景観を演出している。
- ◎南京町広場とそれに直行する東西・南北の通りの街灯は電球色LED照明に改修された。

【課題】

- 期間限定でのランタン照明は、その常設化が望まれる。
- 地区の骨格をなす通り以外の南北の通りの街灯も電球色LED化が望まれる。
- さらなる夜の賑わいづくりが望まれる。
- 西安門ライトアップの再点灯が望まれる。



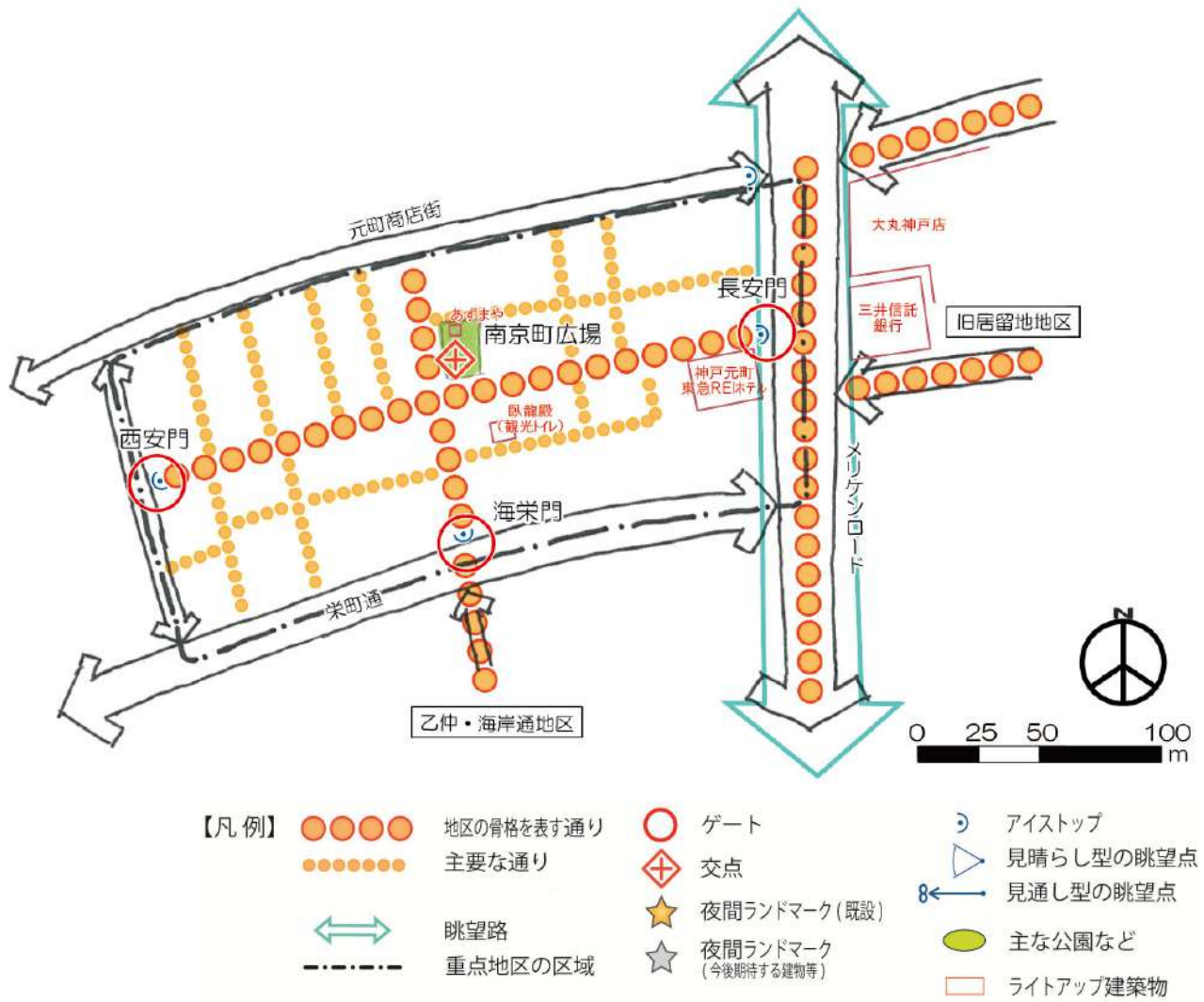
■光のコンセプト

★活気ある「賑やかな光」の演出

〈取り組みの方向性〉

- ◆南京町広場を通る東西方向・南北方向の通りを中心に、中国風情緒あふれる個性的な夜間景観の形成に向けた取り組みをめざします。
- ◆現在の南京町の賑わいを活かしながら、何度でも訪れたくなるような取り組みを推進します。

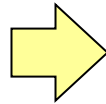
■取り組みイメージ図



■修景イメージ



(現状)



(修景イメージ)

■ 具体的施策

● ハード施策

◆ 南京町広場等での光の演出【地域団体・行政】

南京町地区の中心である南京町広場では、イベント時に吊り下げているランタンやスポットライトのLED化・常設化など、夜間の華やいだ雰囲気を出すためのさらなる魅力アップを進めます。



ランタンや建物頂部を活用した演出

● ソフト施策

◆ 店舗と連携した活気あふれる賑わいづくり

【地域団体・事業者・行政】

ゆっくりと夜のまちを楽しんでもらえるよう、飲食店や物販店への営業時間延長への働きかけを行うほか、南京町広場でのナイトマーケットの促進など、さらなる賑わいづくりを進めます。



夜間イベントの促進(夜光龍)

● しきみづくり

『光のコンセプト』に沿った地区毎の特色ある夜間景観の形成に向け、景観誘導の手法や「引き算のデザイン」など重点テーマを反映した具体的な内容、その運用方法などについて、地域団体の皆さんとともに「まちのあかりのガイドライン」としてとりまとめました。今後は、ガイドラインに基づく運用・実践を継続します。

【まちのあかりのガイドライン（南京町地区）】

◎ 基本目標

- ① 異国情緒のあるまち神戸を代表する、華やかで賑やかな光を演出する。
- ② 南京町ならではの光の演出や、撮影したくなる夜景を創出する。
- ③ 営業時間後も来訪者を楽しませる、もてなしの光を工夫する。



(4)乙仲・海岸通地区

【現状】

- ◎かつて海運貨物取扱業者が軒を並べて賑わい、近年では、倉庫等を改装したおしゃれで個性的な店舗が建ち並ぶ地区。夜間は少し暗がりがあるため、小さな個店の灯りが逆に際立っており、印象の良いまちである。
- ◎公共空間の照明改善として、主要な通りの街路灯について電球色への玉替えや未設置箇所への整備が達成し、明るく温かみのある通りの演出が実施された。
- ◎店の看板照明は、内照式ではなく電球色の投光式が多いため、その柔らかい光がヨーロッパのまちのようなレトロな雰囲気を出している。
- ◎地区の西側は、近年マンション街に変貌したが、玄関ホールや通り沿いの外構からの灯りが道路にこぼれ出しており、おだやかな雰囲気となっている。

【課題】

- 閉店後のショーウィンドウ等のあかりに留意している店舗も一部にあるが、地区全体に広がるよう継続的な活動が望まれる。
- 地区内を東西に通る乙仲通りの街灯は電球色 LED 照明に改修されたが、それ以外の主として南北の通りも電球色 LED 照明への改修が望まれる。
- 「ポートセンター街園」においては、地区の中心として、また、海への玄関として、中突堤方面への見通しの改善が必要である。一時期光の演出が行われたが、現在中止されており、復活が望まれる。



■光のコンセプト

★個々の店舗が織り成す「ほのかな光」の演出

〈取り組みの方向性〉

- ◆店舗などの個性的なあかりを活かしつつ、地区全体の道路照明の色味を電球色に調整するとともに、足元灯などによる、ほのかな光の演出を推奨するなど、地区全体でやわらかな一体感を生み出す夜間景観形成を推進します。
- ◆乙仲通の両端とタワーロードとの交差点などは、地区への入口としてだけでなく、他地区へと繋がるような魅力的なゲート景観として光の演出をめざします。

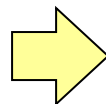
■ 取り組みイメージ図



■ 修景イメージ



(現況)



(修景イメージ)

■ 具体的施策

● ハード施策

◆ ポートセンター街園での光の演出【地域団体・行政】

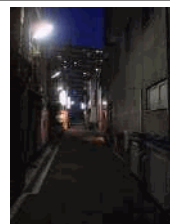
地区の中心にあるポートセンター街園では、この地区の交流拠点として、また、“みなと”へつながるゲート空間としてふさわしい、光の演出を検討します。



街路樹や彫刻のライトアップ(イメージ)

◆ 公共空間の照明改善【行政】

『光のコンセプト』に従い、電球色への色味の統一をはかるとともに、器具を更新する際は、LEDなど省エネ器具の採用をはかります。



改善例(前)



(後)

● ソフト施策

◆ 店舗と連携したレトロな賑わいづくり【地域団体・事業者・行政】

ゆっくりと夜のまちを楽しんでもらえるよう、飲食店・物販店と連携したナイトイベントや回遊性を生む仕掛け、**ショーウィンドウの閉店後の点灯**など、夜の賑わいづくりを進めます。



レトロな賑わい(ニューヨーク)

● しきみづくり

『光のコンセプト』に沿った地区毎の特色ある夜間景観の形成に向け、景観誘導の手法や「引き算のデザイン」など重点テーマを反映した具体的な内容、その運用方法などについて、地域団体の皆さんとともに検討を進めていきます。

【取り組み例】

◎ 取り組みやすくわかりやすい「光のガイドライン（推奨プラン）」の作成

- ・ 各店舗等での個性的な照明の推奨
- ・ まぶしい照明の抑制（輝度制限など）
- ・ まちの雰囲気になじまない照明の抑制（内照式、点滅式、回転灯の禁止など） など

(5)メリケンパーク・ハーバーランド周辺地区

【現状】

◎観覧車や神戸ポートタワー、神戸海洋博物館があるこの地区は、テレビや雑誌などで多数紹介される、みなと神戸の夜景のシンボリックな地区。夜間景観としても良好に演出されている。

◎神戸開港 150 年（平成 29 年）を契機にメリケンパークからハーバーランドまで連続したハーバーウォークが整備され、夜間は栈橋や岸壁に映り込む光を楽しめるポイントが随所に出現した。また、都心からメリケンパークに誘うゲート部分では、安心して楽しく通行できる光の演出整備を進めた。また、ハーバーランドのランドマークである煉瓦倉庫周辺での照明整備も順調に進捗している。

◎全体的には、神戸らしい、落ち着いた電球色照明の光で統一感がでている。

◎フォトスポットとして設置した「BE KOBE」モニュメントではライトアップ演出をおこない、SNS などを通じて、神戸の新たな観光拠点となっている。

◎数多くのイベントも開催されており、昼夜を問わず賑わいの場となっている。

【課題】

○岸壁や営業時間外の係留中の船舶などの多くは、照明が点灯しておらず、少しさびしい印象を与える。

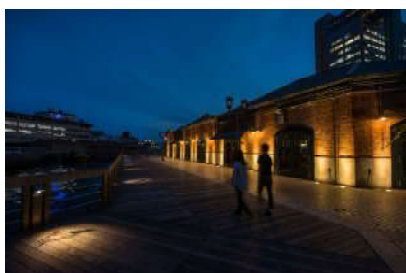
○建物低層部で照明の色味の不ぞろいな部分があり、若干見受けられる。

○更なる魅力向上のために、神戸ポートタワーや神戸海洋博物館など、ランドマーク施設の夜間ライトアップ改善が必要である。

○メリケンパークからハーバーランドにかけて夜間景観による演出は充実したが、海辺のため器具が傷みやすく、これらの照明の維持管理の充実が望まれる。

○国道2号及び阪神高速高架により、都心部と心理的に分断されているため、主な歩行者動線上の交差点については、都心と海を行き来したくなるような景観面での演出が望まれる。

○ハーバーランドの対岸の造船所のあたりが全体的に暗くなっている。



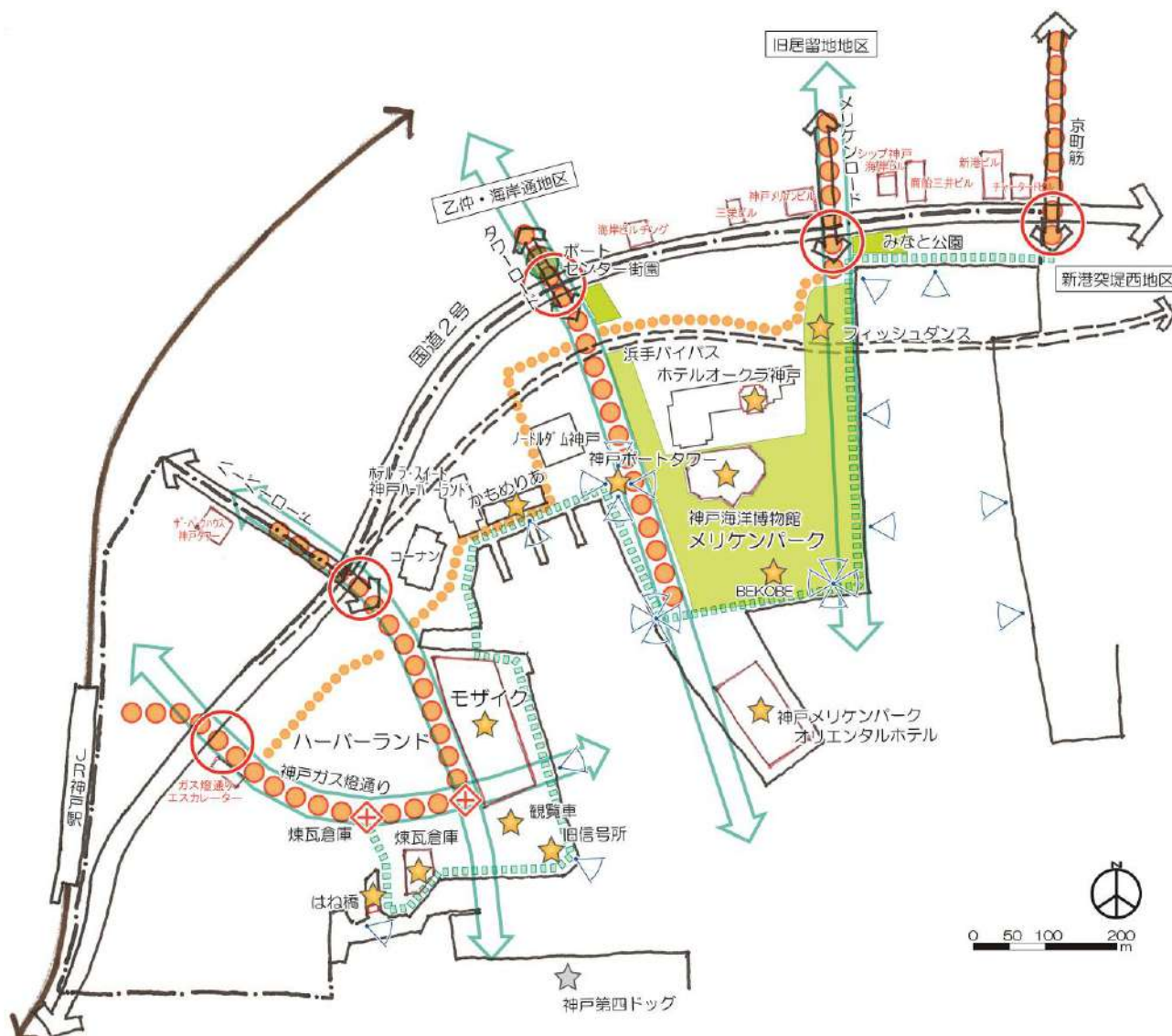
■光のコンセプト

★海辺に映りこむ「きらびやかな光」の演出

〈取り組みの方向性〉

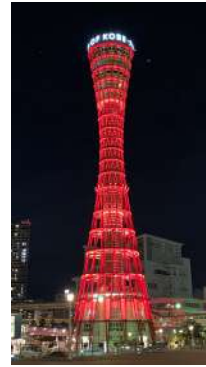
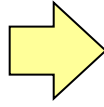
- ◆建物低層部の照明や街路灯などを、電球色を基調とした色味にそろえ、統一感のある落ち着いた雰囲気のある港の夜景が一定実現したが、海辺であるが故に傷みやすいため、今後は充実した維持管理体制の構築に努めます。
- ◆ウォーターフロントへの入口部での“ゲート景観”の形成や、水際へと誘導するような光の演出など、水際をそぞろ歩きしたくなるような夜間景観形成を推進します。
- ◆この地区の特色であるハーバーランドから中突堤、さらに第一突堤へとつながる扇形の地形を活かしながら、上空や海上、対岸から見る魅力的な光の演出をめざすとともに、対岸を眺める視点場としても魅力的な光の演出をめざします。

■取り組みイメージ図



- 【凡例】
- 地区の骨格を表す通り
 - 主要な通り
 - 水際プロムナード
 - ↔ 眺望路
 - (赤) ゲート
 - ◇ (赤) 交点
 - ★ (黄) 夜間ランドマーク(既設)
 - ★ (白) 夜間ランドマーク(今後期待する建築等)
 - ⊙ (青) アイストップ
 - △ (青) 見晴らし型の眺望点
 - ← (青) 見通し型の眺望点
 - (緑) 主な公園など
 - (白) ライトアップ建築物

■修景イメージ



(現況)

(修景イメージ)

■具体的施策

●ハード施策

◆ハーバーランド煉瓦倉庫周辺での照明整備【事業者・行政】

まちの新たな魅力の創出をはかるため、LED照明により水際空間に光のアクセントを与え、洗練された光の演出でハーバーランドのランドマークである煉瓦倉庫やハーバーウォークを**整備しました**。

また、対岸の**業務**ゾーンについても、煉瓦倉庫周辺の整備に合わせた魅力的な光の演出を働きかけていきます。



ハーバーウォークの照明演出

◆エッジを際立たせ、水辺に映りこむ光の演出【事業者・行政】

対岸の建物の光や船のイルミネーションなどにより、海面に光のゆらめきを映すなど、突堤などの水際線を際立たせ、“見られる対象”としての水際の光の演出を進めます。

また、大観覧車の表示コンテンツのリニューアルをおこないました。



船のライトアップなど



海面に映るゆらめきを意識

◆水際空間の魅力アップ【地域団体・事業者・行政】

ハーバーランドからメリケンパークまでの水際空間においては、訪れた人がゆっくりと安心して夜景を楽しめるよう、“見る”視点場としての魅力アップを**進めました**。また、**噴水は、水と遊べるフラット型の音楽演出噴水として日中夜間ともに楽しむように改善しました**。

また、夜間でもジョギングや散歩をしたくなるような、また、ゆっくりとくつろぎたくなるような、しかけづくりを検討します。



音楽に合わせて照明演出がされている音楽噴水

◆ランドマークを活かした光の演出【事業者・行政】

ハーバーランドから中突堤まで数多くあるランドマーク施設の夜間ライトアップを推進し、際立つ光の組み合わせが織りなす夜景を演出します。

●ソフト施策**◆物語性を意識した新たなしかけづくり【地域団体・事業者・行政】**

神戸ポートタワーなどでのイベントや特別な演出、水際でのイベントや夜間クルーズの実施など、物語性を意識した新たなしかけづくりを進めます。



GlobalRainbow @Kobe 2020



BE THE LIGHT

●しくみづくり

夜間景観の形成に向け、建築物等及び屋外広告物に対して夜間景観基準の検討を進めており、基準に沿った照明や映像装置の整備や誘導を進めていきます。

また、整備後のメンテナンス費用の確保や維持管理体制の構築を進めていきます。

(6)新港突堤西地区

【現状】

- ◎都心・ウォーターフロントの長期的な将来構想を描いた『「港都 神戸」グランドデザイン』では、“新たな創造産業複合ゾーン”として大きく土地利用転換をはかっていく地区に位置づけられており、**将来構想の実現に向け、段階的な再開発に取り組んでいる。**
- ◎歴史的資源の一つである神戸税関と旧神戸生糸検査所を転活用した「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」**がライトアップされており、フラワーロード「光のミュージアム」が延伸されている。**また、「みなとのもり公園」などの新たな魅力スポットが生まれている。
- ◎**神戸港の夜景のシンボルの一つである「神戸大橋のライトアップリニューアル」が完成した。**

【課題】

- 地区の活性化のため、フラワーロード、**京町筋**からの人の流れを呼び込む仕掛けが必要である。
- メリケンパークやポートアイランドなど、対岸からの見え方を意識した演出が望まれる。



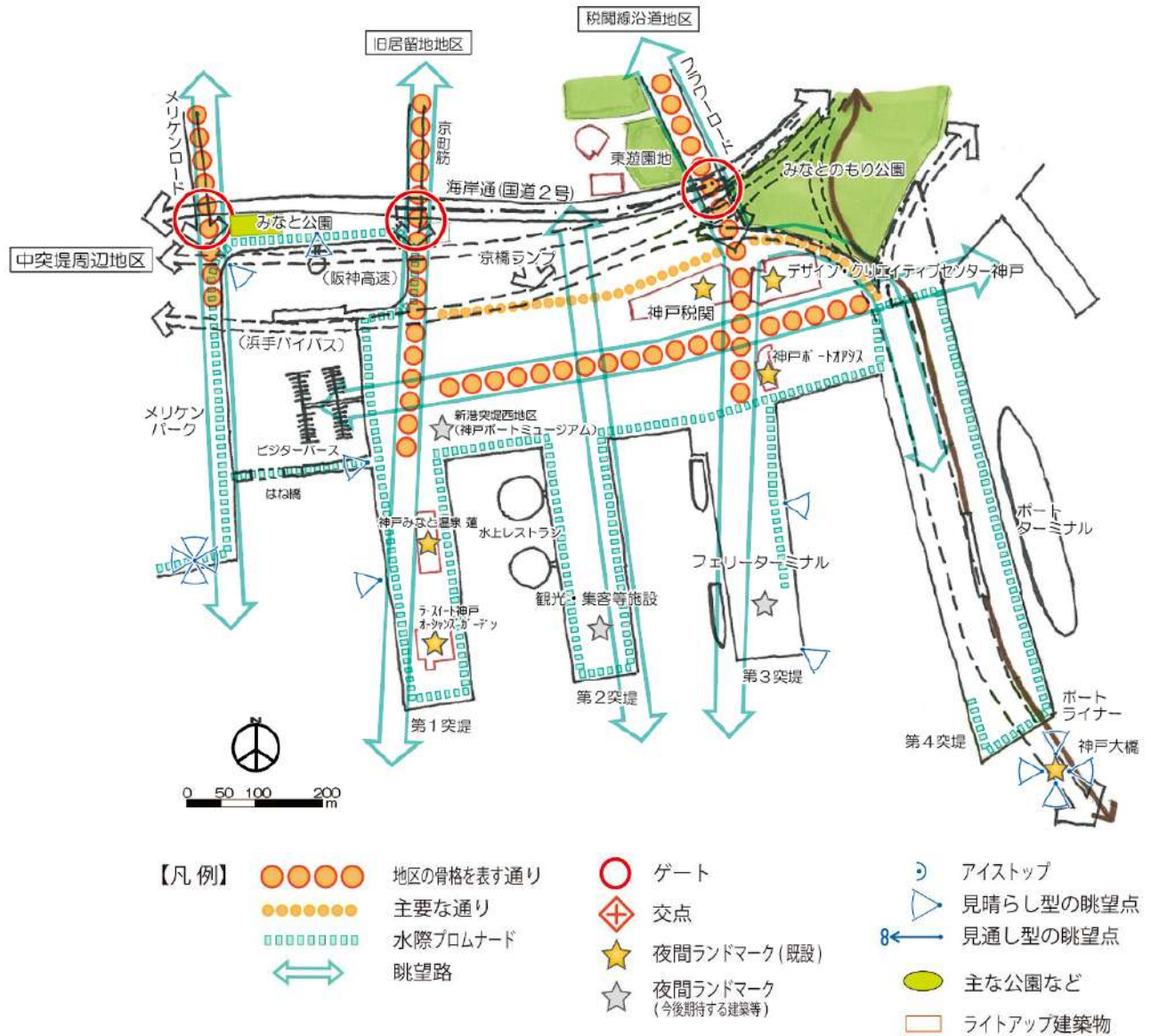
■光のコンセプト

★みなと神戸らしい「新しい光」の演出

〈取り組みの方向性〉

- ◆税関線沿道地区と中突堤周辺地区を繋ぐエリアとして、特徴的な楕形突堤を活かし、既存の施設を活用しながら人の流れを生み出し、今後の整備を促進するような取り組みをめざします。

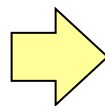
■取り組みイメージ図



■修景イメージ



(現況)



(修景イメージ)

■ 具体的施策

● ハード施策

◆ デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) の魅力的な照明整備

【事業者・行政】

みなとまち神戸の近代化の歴史を物語る貴重な歴史的資源である「デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)」のライトアップは完成しましたが、ウォーターフロントの玄関口として、神戸税関はさらなる魅力的な光の演出を検討します。



歴史的建築物の魅力アップ

◆ 楕形の突堤を活かした光の演出【事業者・行政】

新港第1突堤は複合型ホテルの進出やウォーターフロントの緑地の整備を行い、楕形の突堤を活かした魅力的な光の演出が実現しており、第1突堤基部はアクアリウムなどが入る神戸ポートミュージアムをはじめとした各施設において、魅力的な光の演出を進めます。

また、新港突堤西地区から見える対岸など順次進める再開発においても、魅力的な光の演出を働きかけていきます。



地形の特色を活かした光の演出

◆ 神戸大橋のライトアップリニューアル【行政】

神戸港の夜景のシンボルのひとつである神戸大橋について、「みなと神戸らしい『新しい光』の演出」をめざし、ライトアップのリニューアルを行いました。さらに、神戸大橋の四隅から天空に向けて光の柱を放つ「上空照射」の特別演出も実施されています。



神戸港のシンボルの魅力アップ

●ソフト施策

◆デザイン・クリエイティブセンター神戸などとの連携事業の推進【地域団体・事業者・行政】

フラワーロードを楽しく歩いてもらい、この地区に人の流れを呼び込むため、デザイン・クリエイティブセンター神戸やみなとのもり公園を活用し、センターで活動するクリエイターと連携しながら、光をテーマとしたイベントを実施するなど、地区の資源を活かした取り組みを推進します。



地形を活かした照明演出でにぎわいを創出している例
(うたあかり・山口県)

●しくみづくり

『光のコンセプト』に基づいた具体的な施策を効果的・効率的に進めていくため、地区単位での推進体制の確立など、「港都 神戸」グランドデザインとの整合をはかりながら、中長期的な視点での魅力的な夜間景観形成に向けたしくみづくりを進めます。

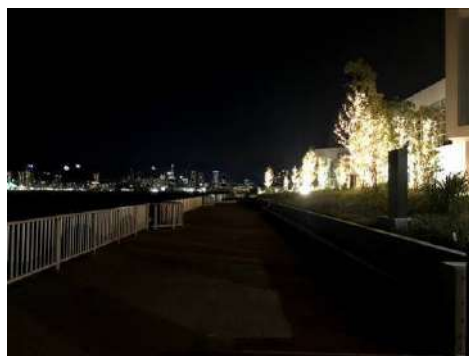
(7)ポートアイランド西地区

【現状】

- ◎コンテナバース跡地に大学や公園が整備され、新たに生まれ変わった地区。地区内の「ポーアイしおさい公園」は、神戸港全体を眺める絶好の視点場となっており、ここから眺める眺望景観を保全・育成するための眺望景観形成誘導基準を定めている。
- ◎「ポーアイしおさい公園」内にメリケンパークと対になる「BE KOBE」モニュメントが完成し、夜間の光の演出ポイントとなっている。
- ◎北公園は、神戸大橋のライトアップや対岸のメリケンパークの連続した夜景が望める好ポイントとなっている。

【課題】

- 「ポーアイしおさい公園」は、まだ市民や観光客に十分知られておらず、その魅力を広く知ってもらい、最大限に活かすしかけが必要である。
- しおさい公園に隣接する大学の建物はライトアップされており、大学に接した園路にはLED照明を設置しているが、公園の水際には照明設備が極めて少なく、非常に暗いため、適切な照明設備の整備が望まれる。
- ポートライナー駅から遠く、アクセスが分かりにくいいため、案内強化やコベリンポートの設置などの検討も含めアクセスの強化が望まれる。
- 夜景を眺める視点場としてだけでなく、中突堤側から見られる対岸としても、水際を明るくするなどのさらなる魅力アップが必要である。
- 大阪湾岸道路延伸に伴う長大橋の建設など、新たなシンボル夜景の視点場としての可能性も考慮し、整備のタイミングの検討が必要である。



■光のコンセプト

★神戸港を一望する新名所のしかけづくり

〈取り組みの方向性〉

- ◆神戸港全体を眺める海側からの夜景の視点場として、また、対岸から見られる視点場として、活用のしかけをおこないながら、さらなる魅力アップを進めます。

■ 具体的施策

● ハード施策

◆ ポーアイしおさい公園の魅力アップ【事業者・行政】

快適に滞在できるような照明環境の改善やしかけづくりを進め、ゆっくりと夜景を楽しんでもらえるよう、神戸港を一望する絶好の視点場としてのさらなる魅力アップを進めます。また、海上や対岸などから“見られる対象”としての魅力アップを進めます。



「視点場」「視対象」としての魅力アップ



● ソフト施策

◆ ポーアイしおさい公園周辺で楽しめるしかけづくり

【地域団体・事業者・大学等・行政】

公園内に誘致した賑わい施設や、大学のレストラン、学生が実施するイベントなど、地元と連携した活用を促進するとともに、夜間の賑わいづくりを推進します。また、ポートライナー駅からの案内強化や、コベリンポートの設置などのアクセス強化を進めます。

● しくみづくり

『光のコンセプト』に基づいた具体的な施策を効果的・効率的に進めていくため、地区単位での推進体制の確立など、「港都 神戸」グランドデザインとの整合をはかりながら、中長期的な視点での魅力的な夜間景観形成に向けたしくみづくりを進めます。

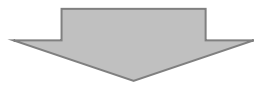
(8)HAT神戸周辺地区

【現状】

- ◎HAT 神戸には、兵庫県立美術館や人と防災未来センターなど、来訪者が多く訪れる施設が点在しているが、利用が施設に限定しており、親水空間であるなぎさ公園などの周辺資源があまり生かされていない。
- ◎ハーバーウォークは、ウォーキングやジョギングに利用されているが、既存照明の色味が白色であり、かつ暗く感じる。
- ◎芸術彫刻やモニュメントなど多くの観光資源があるが、夜間景観の資源として活用されていない。
- ◎HAT 神戸の県立美術館から原田の森ギャラリーの縦の軸である「ミュージアムロード」について、通りとしての統一された整備がなされていない。

【課題】

- 市民の利用が活性化するように、ハーバーウォーク、なぎさ公園全体の照明環境の改善を行う必要がある。
- なぎさ公園の円形広場や芸術彫刻などのアートを活かしたまちの活性化が望まれる。
- ミュージアムロード全体の夜間景観整備が望まれる。



■光のコンセプト

★アートを活かした夜のしかけ

〈取り組みの方向性〉

- ◆ハーバーウォーク、なぎさ公園などの照明改善を含めた夜間景観整備を行います。
- ◆HAT 神戸の中心軸である東西線の照明を電球色に改善し、更には周辺駅と HAT 神戸を繋ぐ歩道橋のライトアップを行い、夜間景観整備の向上をめざします。
- ◆ポイントとなる箇所のライトアップや JR 灘駅前広場の改修を行い、ミュージアムロード全体の夜間景観整備をめざします。
- ◆アートを活かしたまちの活性化のため、地域連携イベントの企画・実施をめざします。

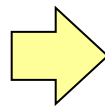
■取り組みイメージ図



■修景イメージ



(現況)



(修景イメージ)

■ 具体的施策

● ハード施策

◆ ハーバーウォーク・なぎさ公園の夜間景観整備

【行政】

HAT 神戸のレクリエーションゾーンは海に面したハーバーウォークやなぎさ公園等であり、認知度を高め市民利用を促進するため照明設備の改善を含め夜間景観整備を行います。



◆ 東西線照明改善【行政】

HAT 神戸の中心軸である東西線の照明を電球色に改善し、更には周辺駅とHAT 神戸を繋ぐ歩道橋のライトアップを行い、夜間景観整備の向上をめざします。



◆ ミュージアムロード全体の夜間景観整備【行政】

歩道の樹木やモニュメントのライトアップ、ランドマークとなる歩道橋や兵庫県立美術館のライトアップ、JR灘駅前広場の改修などに取り組み、ミュージアムロード全体の夜間景観の向上をめざします。



● ソフト施策

◆ 地域連携イベントの企画・実施

【地域団体・事業者・行政】

芸術イベントやマルシェなどを企画・実施し、アートを活かしたまちの活性化に取り組んでいきます。

● しきみづくり

ミュージアムロード～HAT 神戸エリアにおいて、行政・地域団体・民間企業で構成する活性化連携会議等を開催し、地域・事業者の意見を聞きながら、まちの活性化に取り組めます。

■ 取り組み総括図



【凡例】	
●●●●●●	地区の骨格を表す通り
□□□□□□□□	水際プロムナード
⇔	眺望路
▭	重点地区
○	ゲート
⊕	交点
★	夜間ランドマーク(既設)
☆	夜間ランドマーク (今後期待する建物等)
▷	見晴らし型の眺望点

第1章 基本的な考え方

第2章 基本方針

第3章 取り組む施策・事業
【取り組み総括図】

第4章 実現に向けて

2. 対象エリア全体での各地区が連携した取り組み

夜景景観の魅力を効果的・効率的に高めるためには、それぞれの地区での取り組みとともに、各地区が連携・補完しながら取り組みを進めていくことが重要です。各地区での取り組みをつなげ、相乗効果を発揮できるように、対象エリア全体での連携した取り組みを進めます。

●ハード施策

◆ランドマークなどのライトアップ推進【地域団体・事業者・行政】

景観形成重要建築物や特色ある構造物など「まち」のシンボルとなるランドマークについては、省エネにも配慮しながらライトアップを推進していきます。また、モニュメントなど既存の魅力資源についても、夜間でもその魅力が十分に発揮できるような光の演出を推進していきます。



景観形成重要建築物などの
ライトアップ(商船三井ビル)

◆“ゲート景観”の創出【地域団体・事業者・行政】

地区の顔となる、また、地区どうしをつなぐ「ゲート」部分については、景観届出制度を活用し、魅力的な“ゲート景観”の形成を誘導していきます。また、公開空地での光の演出に向け、より実効性のある推進手法を研究していきます。



「ゲート」の演出
(南京町・長安門)

◆まちなかでの視点場づくり【事業者・行政】

まちなかでのそぞろ歩きの途中で、中・近景の夜景を休憩しながらゆっくりと楽しめるよう、整備可能な新たな視点場を発掘するとともに、ベンチや案内板を整備するなど、新たな視点場づくりを進めます。



まちなかでの視点場(ニューヨーク)

◆公共空間の照明改善【行政】

道路や公園、広場など公共空間における照明等については、必要な明るさは確保しつつ各重点地区等での『光のコンセプト』に従い、設備更新に合わせて照明の色味の統一を進めていくとともに、LEDなど省エネ器具の採用をはかります。



道路照明などの色味の調整
(イメージ)

◆案内サインの改善【行政】

安心して夜間のまち歩きを楽しんでもらうため、既存の案内サイン更新時には、照明付近に移設するなど、夜間の見え方にも配慮した案内サインへの改善をはかります。



照明付近に設置した案内サイン

◆都心・ウォーターフロントを眺める視点場の魅力アップ【行政】

ビーナステラスや神戸布引ハーブ園など、都心部から手軽に行ける遠景の視点場については、安心してゆっくりと楽しめる魅力的な空間づくりを進めています。民間による夜景観賞バスの運行を促すためにも、さらなる魅力アップや発信を進めます。



都心を眺める身近な視点場の魅力アップ(ビーナステラス)

●ソフト施策

◆季節や時間などテーマ性を意識した総合的な光の演出

【地域団体・事業者・行政】

春夏秋冬それぞれのイメージを意識した四季を感じる光の演出や、一斉ライトアップ・ダウンや時間差ライトアップ、時間での色の変化による光の演出など、ライトアップ施設同士が連携しながら、季節や時間などテーマ性を感じられる光の演出を推進します。複数のライトアップ施設と連携した「KOBE ライトアップ DAY」の取り組みをさらに広げていきます。



神戸ハーバーランドの夜景

◆既存のイベントの連携強化【地域団体・事業者・行政】

地域団体や事業者などが中心となり実施されている個々さまざまなイベント同士をコーディネートし、四季それぞれでの特色のあるイベントとして有機的につなげ、相乗効果を発揮できるような、連携した取り組みを進めていきます。



三宮駅南・光の回廊デッキ

◆「魅力的な夜間景観」の発掘・PR

【地域団体・事業者・行政】

夜景観賞スポットを市内外から公募し、新たな視点場を発掘します。また、まち歩きに使えるマップの作成・ホームページへの掲載などにより、神戸夜景の魅力を広くPRします。

さらに、SNS等を活用し、夜景観賞スポットの写真やコメントを投稿してもらい、その情報を発信するなど、参加型の楽しいしかけづくりも検討していきます。

まち歩き用に作成した「都心夜景10選マップ」は増版を重ねており、今後も更新等をおこないます。



中突堤からの夜景

140万 SNS アップ数となっている
BE KOBE モニュメント

◆魅力的な夜景観光商品の開発【地域団体・事業者・行政】

観光ボランティアによる夜景ガイドツアーや、ビルの屋上、民間の工場敷地など、普段は入れない場所からの夜景鑑賞や写真撮影会を行うツアーなど、神戸夜景の魅力を十分にPRできる旅行商品の開発を進めます。



ビルの屋上からの夜景

◆「夜景観賞バス」などによる回遊性の向上【事業者・行政】

手軽に神戸の夜景を楽しんでもらうため、市街地中心部から神戸の夜景観賞スポットを結ぶ「夜景鑑賞バス」の運行など、市街地での回遊性向上に向けた施策を進めます。



夜景観賞バス

◆情報発信の充実【事業者・行政】

神戸公式観光サイト「Feel KOBE」などでの夜景関連ページの充実など、インターネットを活用した情報発信の充実をはかります。また、観光情報だけでなく、緊急防災情報などの発信も可能なデジタルサイネージを活用した総合案内機能についても、民間事業者と連携した運用方法の研究を進めるなど、まちなかでの情報発信機能の充実をはかります。



光の総合情報板(イメージ)

◆事業者、子どもなどへの普及啓発【行政】

夜間景観形成の取り組みに対する理解や、個々の建築物等での照明の高質化をはかるため、「照明デザインセミナー」や3Dマッピングなど新技術を紹介する「あかりの見本市」の開催など、事業者に対する普及啓発事業を進めます。

また、親子で参加できる光のイベントの開催など、市民への夜間景観に関する意識高揚・普及啓発に取り組みます。



親子で楽しめるあかりイベント
(山口県・島根県)

◆夜間景観形成支援制度の充実【行政】

地域でのルールづくり、夜間景観の魅力アップや省エネ化につながる照明整備など、地域団体や民間事業者が行う実施計画の実現に向けた取り組みに対し、照明アドバイザーなどを派遣するなど、夜間景観形成にかかる支援制度を創設しました。

今後は、維持管理の支援など制度の充実を図ります。



地域団体への取り組み支援
(南京町・ランタンフェア)

●しくみづくり

◆玄関としてのおもてなし【事業者・行政】

陸の玄関口であるJR新神戸駅からの夜景だけでなく、空の玄関口である神戸空港に着陸する飛行機や空港から眺める夜景、海の玄関口である中突堤やポートターミナルに入港する旅客船からの夜景、さらに、それぞれの玄関口から都心部に入る道路から見る夜景などについては、“おもてなし”の心を表現するような魅力的な夜間景観の形成に努めます。



神戸空港・展望デッキからの夜景

◆夜間景観形成基準の検討【事業者・行政】

夜間景観の形成に向け、建築物等及び屋外広告物に対して夜間景観基準の検討を進めており、基準に沿った照明や映像装置（デジタルサイネージやプロジェクションマッピング等）の整備や誘導を進めていきます。

都心・ウォーターフロントエリア全体での一体感のある夜間景観の形成に向けて、対象エリア全体での基本的な基準の設定や誘導手法、運用方法などについての検討を進めます。

【基準（案）】

- ・落ち着いた温かみのある電球色照明（色温度 3,000K 以下）の推奨
- ・演出を行う場合の光の動きや点滅、色の変化は緩やかなものとする
- ・まぶしさや不快感を与える光（グレア）の抑制

など

第4章 実現に向けて



第1章 基本的な考え方

当計画は、都心・ウォーターフロントエリアにおける今後概ね5カ年の地区別実施計画として策定しました。計画の目的である『「デザイン都市・神戸」の都市ブランド力の向上』の実現に向けて、下記の視点での取り組みを実行しながら、位置付けられた施策を着実に遂行していきます。

さらに、本計画のさらなる展開を行いながら、質の高い魅力的な夜間景観形成の推進をはかっていきます。

1. 計画の実現に向けた取り組みの視点

(1) 相乗効果を生み出す“協創”の取り組み

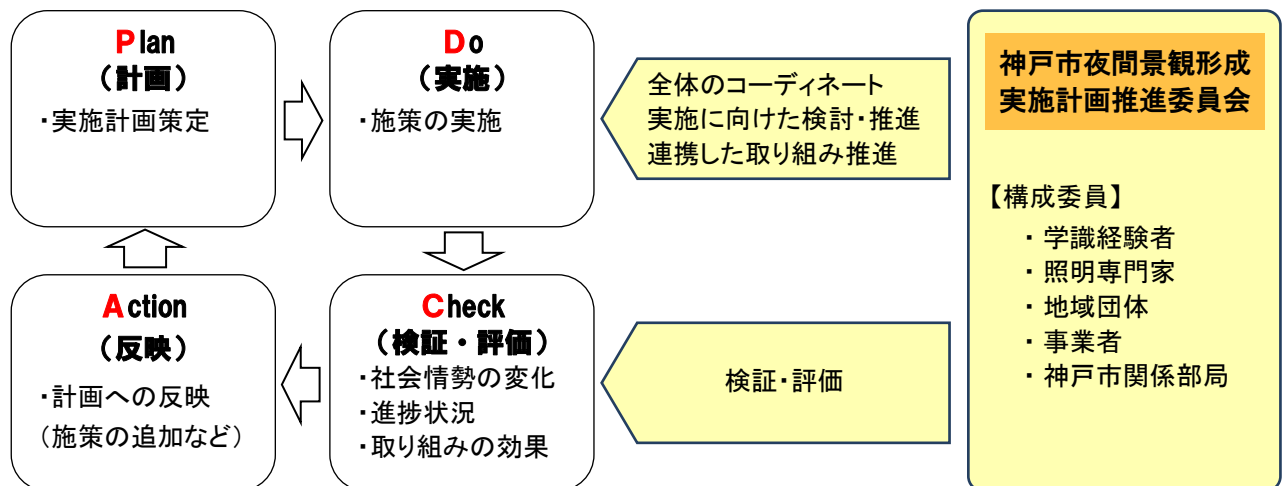
計画の実現のためには、市民・事業者・大学等・行政がそれぞれの役割を果たしながら連携して継続的な取り組みを進めていくことが重要です。さらに、計画を効果的・効率的に進めていくためには、それぞれが実施する個々の事業を有機的につなげ、相乗効果を生むような取り組みを進めることが重要です。

このため、有識者や地域団体、民間事業者、関係行政機関等で構成される「神戸市夜間景観形成実施計画推進委員会」において、計画に位置付けられた施策・事業の実施に向けた検討・調整を行い、密に情報交換を行いながら、それぞれが連携した取り組みを推進していきます。

(2) 着実な進行管理

本計画は、「神戸市夜間景観形成実施計画推進委員会」において、毎年度PDCAサイクルによる検証・評価、適宜修正等を行いながら、計画を着実に推進していきます。

また、PDCAサイクルにおける検証・評価の結果や社会情勢の変化、取り組みの効果などをふまえ、計画期間中であっても、柔軟に計画の見直しをおこないます。



第2章 基本方針

第3章 取り組み施策・事業

第4章 実現に向けて

(3) 取り組みの情報発信

計画の目的を達成するには、実現した結果の発信だけでなく、それに至る過程など取り組み自体の情報発信も重要です。

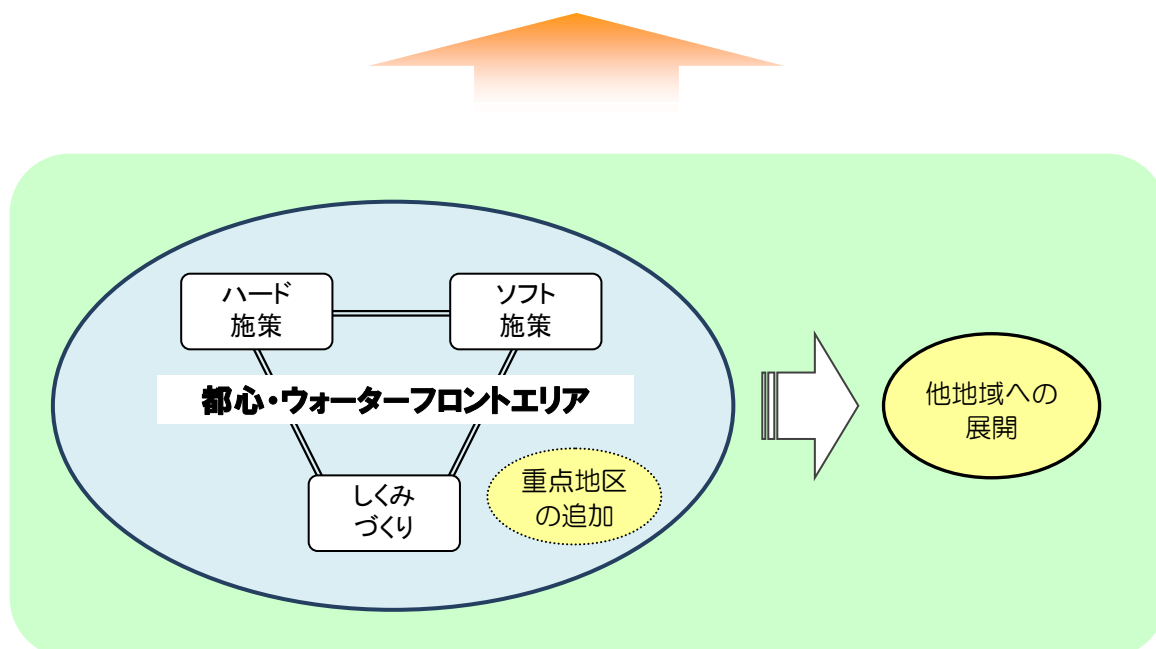
神戸市での取り組みを広く世界に発信し、その評価を励みとしながら、「デザイン都市・神戸」にふさわしい夜間景観形成に向けた取り組みを進めていきます。

2. 今後の展開

本計画では8つの重点地区を設定しましたが、今後は、取り組みの必要性や地域での取り組みへの機運などをふまえ、必要に応じて重点地区の追加も検討しながら、目標実現に向けた取り組みを進めていきます。

また、本計画は神戸市夜間景観形成基本計画に基づく、都心・ウォーターフロントエリアにおける地区別計画として策定しましたが、本地域以外においても、取り組みの必要性の高い地域から順次、地区別実施計画を策定していきます。

市民・事業者・大学等・行政の“協創”で
「デザイン都市・神戸」の魅力的な夜間景観の形成



1. 神戸市夜間景観形成 実施計画検討会 委員名簿 (平成24年3月策定時点)

区分	氏名	備考
学識経験者等	三輪 康一	神戸大学大学院工学研究科 准教授 (委員長)
	福田 知弘	大阪大学大学院工学研究科 准教授
	長町 志穂	(株)LEM空間工房 代表取締役
	安田 義秀	神戸商工会議所 理事・プロジェクト推進部長
行政	企画調整局	デザイン都市推進室
	産業振興局	観光コンベンション推進室
	建設局 道路部	工務課
	建設局 公園砂防部	緑地課
	都市計画総局 建築技術部	技術管理課
	みなと総局 技術部	計画課
	都市計画総局 計画部	まちのデザイン室 (事務局)
オブザーバー	関西電力(株) 地域共生・広報室	都市再生プロジェクトチーム

2. 神戸市夜間景観形成 実施計画推進委員会 委員名簿

(令和3年3月時点)

区分	氏名	備考
学識経験者等	三輪 康一	神戸大学 名誉教授 (委員長)
	福田 知弘	大阪大学大学院工学研究科 准教授
	長町 志穂	(株)LEM空間工房 代表取締役
	関口 幸明	神戸商工会議所 理事・地域政策部長
地域団体等	フラワーロード沿道まちづくり協議会	
	フラワーロード美緑花推進協議会	
	旧居留地連絡協議会	
	南京町景観形成協議会	
	みなと元町タウン協議会	
	メリケンパーク協議会	
	ハーバーランド運営協議会	
事業者等	阪神高速道路(株)	
	JATA関西支部兵庫地区委員会	
	三宮駅南・光のデッキ回廊委員会	
オブザーバー	関西電力(株) 地域エネルギー本部 地域エネルギー開発グループ	
	国土交通省 神戸運輸管理部 総務企画部	
幹事	企画調整局 つなぐラボ	
	行財政局 庁舎課	
	経済観光局 観光企画課	
	建設局 道路工務課	
	建設局 公園部 整備課	
	建築住宅局 技術管理課	
	港湾局 ウォーターフロント計画課	
	中央区 総務部 まちづくり課	
	一般財団法人 神戸観光局 観光部	
	都市局 都心再整備本部 都心再整備部 都心三宮再整備課	
	都市局 景観政策課 (事務局)	

資料編

1. 神戸市夜間景観実施計画(都心・ウォーターフロントエリア) 地区別取り組み一覧(H23~R2 年度)

重点地区	実施計画 (具体的項目)	取り組み(H23~R2 年度)
税関線沿道地区	ハード フラワーロードの照明整備 「光のミュージアム」	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーロードの照明整備 ・神戸国際会館の南側から国道2号まで ・国道174号200m区間(新港突堤西地区) ・新神戸駅南側歩道約730m区間 ・「KOBE ライトアップ DAY」に合わせた演出プログラム実施
	鉄道高架下などへの光の演出	<ul style="list-style-type: none"> ・三宮駅・鉄道高架下(JR・阪急部分)の照明整備 ・阪神高速下照明整備の検討
	東遊園地や花時計などの照明整備	<ul style="list-style-type: none"> ・花時計照明リニューアル ・東遊園地の照明整備に向け調整 ・本庁舎1号館ライトアップ
	JR 新神戸駅前の照明整備	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場のデザイン検討
税関線沿道地区	ソフト 夜間の都心を楽しめるしかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・三宮駅南 1,000mの光の回廊の実施(三宮駅南・光のデッキ回廊委員会) ・フラワーロード 光のミュージアムでの「KOBE ライトアップ DAY」の特別ライトアップ ・「TIME TRIP COSMOS with PINK FLOYD」(税関の中庭ライトアップ)
	しくみ 光のガイドライン等の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・税関線南側エリアでのガイドライン策定・運用開始(フラワーロード美緑花推進協議会) ・税関線北側エリアでのガイドライン策定・運用開始(フラワーロード沿道まちづくり協議会)
旧居留地地区	ハード 公共空間の照明改善	<ul style="list-style-type: none"> ・旧居留地エリア内での照明再整備の検討 ・伊藤町筋の照明整備(北側) ・旧居留地エリア内の照明灯を白色から電球色に更新 ・市立博物館のライトアップリニューアル
	ソフト 大人が楽しめる落ち着いた夜の情景づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ライトアップ設備を有する施設へ再点灯の呼びかけ(旧居留地連絡協議会) (神港ビルチング、商船三井ビル) ・旧居留地フェスティバル開催(株式会社大丸松坂屋百貨店)(継続) ①ライトアップフォトコンテスト、②トワイライトライブ、③旧居留地ライトアップ(大丸本館、旧居留地38番館、商船三井ビル、神港ビルチング、チャータードビル、旧神戸居留地15番館、あいおいニッセイ同和損保ビル) ・神戸ルミナリエ ・神戸市立博物館開館時間一部延長、夜の博物館巡り ・旧居留地ナイトマーケット ・Friday Night in 神戸旧居留地
	しくみ 光のガイドライン等の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物ガイドラインの運用(旧居留地連絡協議会) ・夜間景観ガイドライン策定・運用開始(旧居留地連絡協議会)
南京町地区	ハード 南京町広場での光の演出	<ul style="list-style-type: none"> ・南京町広場のあづまや、楼門等の照明改善(南京町商店街振興組合) ・長安門 LED ライトアップ
	ソフト 店舗と連携した活気あふれる賑わいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・南京町ランタンフェア、春節祭、中秋節でのランタン設置等の実施 ・おとな旅神戸 夜景まちあるき(南京町景観形成協議会) ・春節祭にて夜間の時間帯も獅子舞や龍舞など開催(南京町商店街振興組合)
	しくみ 光のガイドライン等の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・「南京町あかりの会」を設置し、あかりのガイドラインの検討(南京町景観形成協議会) ・あかりのガイドライン作成・運用
乙仲・海岸通地区	ハード ポートセンター街園での光の演出	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスシーズンにポートセンター街園で光の演出(乙仲通界隈プロジェクト委員会)
	ハード 公共空間の照明改善	<ul style="list-style-type: none"> ・道路灯の電球色への球替

重点地区	実施計画（具体的項目）	取り組み(H23～R2年度)
中突堤周辺地区 (メリケンパーク周辺)	ハード エッジを際立たせ、水辺に映り込む光の演出	<ul style="list-style-type: none"> メリケンパークのリニューアル「BE KOBE」モニュメント噴水広場床面LED照明/樹木ライトアップ/彫刻ライトアップ/フィッシュの照明リニューアル 水際階段部、手摺LEDライン照明 など
	水際空間の魅力アップ	<ul style="list-style-type: none"> メリケンパークでの夜間景観の検討(メリケンパーク協議会) 連携した神戸港の夜間ライトアップ点灯時間の延長(23時30分) (神戸ポートタワー、神戸海洋博物館、神戸大橋、神戸メリケンパークオリエンタルホテル、ホテルオークラ神戸、ホテルラ・スイート神戸ハーバーランド) ポートセンター街園のクリスマスイルミネーション 世界一のクリスマスツリー(H29.12) かもめりあライトアップ(改修)
	海へいざなう「ゲート」を含む動線への光の演出	<ul style="list-style-type: none"> メリケンパーク夜間景観の検討(メリケンパーク東側エントランス部など) ポートタワーへの歩道ライトアップ 合同庁舎南プロムナード整備
	ソフト 物語性を意識した新たなしなげづくり	<ul style="list-style-type: none"> みなとまち神戸ロマンティック事業との連携強化(YOKOSO みなとまち神戸コンソーシアム) おとな旅神戸の「夜景を巡るツアー」で、「船」のサプライズライトアップの実施 「世界自閉症啓発デー」に合わせ、船のライトアップ(早駒運輸株式会社) 「KOBE ライトアップ DAY」に合わせた特別ライトアップ(神戸ポートタワー、神戸海洋博物館) クリスマスツリーイベント中、夜間のクルーズ便実施(H29)→メリケンパークにて音楽ライブや野外映画上映(昼夜) 「O78」クロスメディアイベント 噴水広場(メリケン)音楽とLED照明による噴水演出 Global Rainbow BE THE LIGHT
中突堤周辺地区 (ハーバーランド周辺)	ハード ハーバーランド煉瓦倉庫周辺での照明整備	<ul style="list-style-type: none"> 煉瓦倉庫周辺の夜間景観演出(煉瓦倉庫ライトアップ、デッキ影絵、ミスト演出など) 神戸ガス灯通り 歩道照明リニューアル はね橋の改修LED化 神戸ガス灯通りイルミネーション(H29リニューアル整備完成)
	水際空間の魅力アップ	<ul style="list-style-type: none"> 連携した神戸港の夜間ライトアップ点灯時間の延長(23時30分) (神戸ポートタワー、神戸海洋博物館、神戸大橋、神戸メリケンパークオリエンタルホテル、ホテルオークラ神戸、ホテルラ・スイート神戸ハーバーランド)
	海へいざなう「ゲート」を含む動線への光の演出	<ul style="list-style-type: none"> 「デュオこうべ浜の手」リニューアル(エントランスの整備) 【再掲】神戸ガス灯通り 歩道照明リニューアル せせらぎ通りリニューアル
	ソフト 物語性を意識した新たなしなげづくり	<ul style="list-style-type: none"> umie Splash Fantasia(神戸ハーバーランド umie) 神戸ウミアカリ開催(H27.11/13~12/25)(ハーバーランド運営協議会など) (デュオこうべ、プロメナ神戸、神戸ハーバーランド umie センターストリート、アニヴェルセル神戸、神戸ハーバーランド umie モザイク、コンチェルト、ハーバーウォーク、はね橋、神戸煉瓦倉庫、神戸ガス灯通り、カルメニ、ハーバーセンター) ハーバーランドの夜景紹介サイトページ「HARBOR NIGHT」開設(ハーバーランド運営協議会) 「KOBE ライトアップ DAY」に合わせた特別ライトアップ(モザイク大観覧車) 煉瓦倉庫東広場イルミネーション(神戸ハーバーランド株式会社) ハーバーランドモザイク大観覧車の表示コンテンツのリニューアル(三菱倉庫株式会社) 神戸プロポーズの日(6月第1日曜日、神戸ハーバーランド umie) umie スプラッシュファンタジア umie アイスマリーナ おとな旅神戸 夜景まちあるき

重点地区	実施計画 (具体的項目)	取り組み(H23~R2 年度)
新港突堤西地区	ハード デザイン・クリエイティブセンター神戸の魅力的な照明整備	<ul style="list-style-type: none"> ・新館東側部での照明整備 ・旧館西側部での照明整備(KIITO) ・阪神高速北側桁側面、国道174号200m区間のライトアップ ・光のミュージアム延伸(国道2号から第3突堤基部まで)
	神戸大橋のライトアップリニューアル	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸大橋ライトアップリニューアル ・神戸大橋 上空照射 特別演出 ・浜手バイパス橋脚ライトアップ、舗装の美装化
	櫛形の突堤を活かした光の演出	<ul style="list-style-type: none"> ・新港第1突堤 緑地のライトアップ ・新港第1突堤基部 緑地のライトアップ(シェルターポールライト等整備)
	ソフト デザイン・クリエイティブセンター神戸などとの連携事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間時間帯にセミナー、イベントなどを実施(KIITO)
ポートアイランド西地区	ハード ポーアイしおさい公園の魅力アップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ポーアイしおさい公園の再整備 「BE KOBE」モニュメントの設置・ライトアップ

重点地区	実施計画 (具体的項目)	取り組み(H23~R2 年度)
全体での取り組み	ハード ランドマークなどのライトアップ推進	<ul style="list-style-type: none"> ・【再掲】ライトアップ設備を有する施設へ再点灯の呼びかけ(旧居留地連絡協議会)(神港ビルディング、商船三井ビル) ・人と防災未来センター 全面ライトアップ((公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構)
	ゲート景観の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・【再掲】南京町広場のあづまや、楼門等の照明改善(南京町商店街振興組合)
	まちなかでの視点場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・【再掲】新港第1突堤 緑地整備
	公共空間の照明改善	<ul style="list-style-type: none"> ・北野坂樹木照明のLED化の実施 ・元町5丁目アーケードリニューアル工事に伴うアーケード内照明の整備 ・三宮プラッツの再整備
	案内サインの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の施設の更新時などに整備検討
	都心・ウォーターフロントを眺める視点場の魅力アップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴィーナステラスの視点場整備
	ソフト 季節や時間などテーマ性を意識した総合的な光の演出	<ul style="list-style-type: none"> ・「KOBE ライトアップ DAY」の選定 ・ライトアップ DAY の追加(5件) ・SNS キャンペーン
	既存のイベントの連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸ピエンナーレ2015 東遊園地にて夜間展示 ・夜景サミット開催期間中の特別イベント <ul style="list-style-type: none"> (一社)夜景観光コンベンション・ビューローなど ①東遊園地 日本を代表するイルミネーション集結 ②夜景サミットウィーク(H27年10/3~12)中に市内の店舗等と特典企画で連携 ・三宮駅南・光のデッキ回廊委員会とフラワーロード沿道まちづくり協議会とのメッセージ交換 ・センター街2丁目演出照明設置「ナイトミュージアム」 ・センターサウス照明改善(白色→電球色) ・相樂園「にわのあかり」 <ul style="list-style-type: none"> (にわのあかり実行委員会、市民ボランティア、神戸市立相樂園など)
		<p><クリスマスシーズン イルミネーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・【再掲】三宮駅南1,000mの光の回廊(三宮駅南・光のデッキ回廊委員会) ・【再掲】南京町ランタンフェアでのランタン設置等の実施(南京町景観形成協議会) ・【再掲】神戸ウミアカリ開催(H27.11/13~12/25)(ハーバランド運営協議会など) ・神戸北野クリスマスストリート(北野・山本地区をまもり、そでてる会) ・北野坂街路樹イルミネーション・北野異人館ライトアップ ・三宮中央通りのイルミネーション施設(三宮中央通りまちづくり協議会) ・ヴィーナステラス「Love Lock Kobe Ai Kagi」(すわやまの会) ・みなと神戸海上花火大会(継続)

重点地区	実施計画（具体的項目）	取り組み(H23～R2 年度)
全体での 取り組み	ソフト 既存のイベントの連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜山小学校前プロムナード照明 ・ 新川運河チャネルプロムナード照明、イルミネーション ・ イオンモール神戸南「WATER FANTASIA KOBE」 ・ 三宮センター街 2 丁目商店街の「ナイトミュージアム」 ・ ヴィーナステラスライトアップ ・ ナイトタイムエコノミー事業 (神戸ナイトサーフィン、生田コレクター)
	都心夜景 10 選の PR	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都心夜景 10 選の選定・マップの作成・配布 ・ 神戸市 HP および「FeelKOBE」の夜景サイトにて PR、およびスマホ対応化 ・ スマートフォンのアプリ「KOBE まちの安全・安心アプリ〜かもめん NAVI〜」へ 10 選掲載 ・ 10 選マップ多言語化
	魅力的な夜景観光商品の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜景バスツアー&JAZZ の企画実施。 ・ おとな旅・神戸の「夜景を巡るツアー」の実施等
	夜景鑑賞バスなどによる回遊性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヴィーナスブリッジや中突堤など都心夜景をバスで巡る夜景バスツアーの実施 毎週土曜(2～3 便) →市街地中心部から神戸の夜景鑑賞スポットを巡る夜景バスツアーの実施 毎週土曜(実施時期により異なる) ・ ケーブルカーで行く「六甲山 1,000 万ドルの夜景ガイドツアー」(サミット特別イベント) ・ シティ・ループバスの営業時間を延長し、神戸港・市街地エリアからまやケーブル下までのガイド付きバスの運行(サミット特別イベント) ・ ボンネットバスで行く市内夜景ツアー(サミット特別イベント) ・ シティ・ループバスの夜間特別運行(H29) (開港 150 年記念)
	情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸の夜間景観形成に関するパネル展示 ・ 「神戸市夜間景観 News」年 1 回発行・配布 ・ 神戸公式観光サイト「FeelKOBE」の夜景サイト「神戸夜景 KOBE Jewelry Box」の充実化、スマホ対応 ・ 神戸都心夜景 10 選関連 HP の充実化 ・ タウンページ「街情報」(H25)、新聞の小冊子「読売 LifeH26 年 2 月号」、「Kiss Press2013.Feb」などへ掲載 ・ ラジオ(Kiss FM KOBE など)での情報発信 ・ 【再掲】ハーバーランドの夜景紹介サイトページ「HARBOR NIGHT」開設(ハーバーランド運営協議会) ・ 「日本新三大夜景都市」に認定((一社)夜景観光コンベンション・ビューロー) ・ SNS キャンペーン
	事業者、子どもなどへの普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ こうべまちづくり学校 講座「夜間景観学」の開催
	夜間景観形成支援制度の創設	<ul style="list-style-type: none"> ①地域団体等へアドバイザーを派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ 三宮センター街 2 丁目商店街振興組合「夜の商店街ミュージアム計画検討」 ・ フラワーロード沿道まちづくり協議会「神戸電子専門学校学生と勉強会・現地調査」 ・ 北野・山本地区をまもり、そだてる会「北野坂照明改善の方策検討」 ・ メリケンパーク協議会「夜間景観形成に関する将来ビジョン提案」 ②整備等への助成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 榊北野美術館「北野美術館ライトアップ照明改善」 ・ センターサウス町おこし会「センターサウス街灯改善」 ・ 南京町景観形成協議会「南京町広場・楼門のライトアップ提灯設置」 ・ 【再掲】南京町景観形成協議会「長安門のライトアップ整備」 ・ 三宮中央通りまちづくり協議会「三宮中央通りのイルミネーション施設」
しくみ	対象エリア全体での夜間景観誘導基準等の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヴィーナステラスからの眺望景観誘導基準(夜間景観)検討

2. 神戸市夜間景観実施計画(都心・ウォーターフロントエリア) これまでの取り組みプロット図

※R2年度時点



3. その他のソフト施策

■ KOBE ライトアップ DAY

「KOBE ライトアップ DAY」は、平成 25 年 12 月より開始し、複数のライトアップ施設と連携し、神戸の歳時記に合わせた光のメッセージを発信し、神戸らしい夜間景観にさらにみがきをかけていきます。



イベント名	期間 ※実施日は毎年変動あり	色
元旦	12月31日～1月1日	○ 白系
阪神淡路大震災1.17のつどい	1月17日	○ 白系
春節祭	1月下旬～2月上旬※	● オレンジ系
バレンタインデー	2月14日	● ピンク系
ホワイトデー	3月14日	○ 白系
ライト・イット・アップ・ブルー	4月2日	● 青系
ME/CFS 世界啓発デー	5月12日	● 青系
神戸まつり	5月中旬※	● 緑系
プロポーズの日	6月第一日曜日	● ピンク系
リレフォーライフジャパン神戸	6月第二日曜日※	● 紫系
海の日	7月第三日曜日	● 青系
みなとこうべ海上花火大会	8月上旬※	● 紫・ピンク系
世界アルツハイマーデー	9月21日	● オレンジ系
ピンクリボンフェスティバル	10月1日	● ピンク系
KOBE 観光の日	10月3日	● 赤系
神戸ジャズストリート	10月中※	● ピンク系
いい歯の日	11月8日	○ 白系
オレンジリボンキャンペーン	11月中※	● オレンジ系
パープルリボンキャンペーン	11月12日	● 紫系
ブルーサークルキャンペーン	11月14日	● 青系
世界エイズデー	12月1日	● 赤系
神戸ルミナリエ	12月上旬～12月25日※	● 赤・緑系

■ 夜間景観形成支援制度

夜間景観形成実施計画に基づいた良好な夜間景観形成のための、都心・ウォーターフロントエリアの地域団体や民間事業者が行う取り組みに対して、夜間景観形成のガイドラインやルールづくりを支援する照明アドバイザーの派遣や、夜間景観の魅力アップや省エネ化につながる照明整備等に対するの支援を行っています。

- 【概要】①夜間景観形成アドバイザーの派遣
②夜間景観形成整備等への助成



神戸都心夜景

10 MAP

KOBE NIGHT VIEWS MAP

ポーターなどキャラクター性の高いあかり並ぶ活夜景



1 高層ビル群
 神戸市街と元町地区
 高層ビル群と元町地区のあかりが、神戸市街と元町地区のあかりを彩ります。

上品でまとまりのある街並みのあかりと光のエンターテインメント



2 高層ビル群
 高層ビル群と元町地区
 高層ビル群と元町地区のあかりが、神戸市街と元町地区のあかりを彩ります。

商店街の合間から突如出現する涼々しいポーター



3 高層ビル群
 高層ビル群と元町地区
 高層ビル群と元町地区のあかりが、神戸市街と元町地区のあかりを彩ります。

門越しに見えるエネルギー感を南浜町のにぎわい



4 高層ビル群
 高層ビル群と元町地区
 高層ビル群と元町地区のあかりが、神戸市街と元町地区のあかりを彩ります。

ほっとする温かみのある商店と街灯のあかり



5 高層ビル群
 高層ビル群と元町地区
 高層ビル群と元町地区のあかりが、神戸市街と元町地区のあかりを彩ります。



まるごと全部 《10時間コース》
 所要時間：約2時間05分
 JR神戸駅 → ①高層ビル群 → ②中央横濱西側 → ③元町商店街 → ④西宮門前 → ⑤中之島
 → ⑥明石町前 → ⑦三宮センターサウス → ⑧神戸市役所 → ⑨名神三宮駅 → ⑩ポートアイランド公園

おすすめルート
 港でゆっくり滞在を 《港町海岸コース》
 所要時間：約1時間10分
 ①名神元町駅 → ②西宮門前 → ③元町商店街 → ④中之島 → ⑤メリケンパーク → ⑥中央横濱西側 → ⑦高層ビル群 → ⑧神戸ガス機器 → ⑨JR神戸駅

6 近代洋風建築やアスリートなど、歩くのが楽しい、写真のあかり

⑥ 高層ビル群と元町地区
 高層ビル群と元町地区のあかりが、神戸市街と元町地区のあかりを彩ります。

7 個店と街灯が織り成す界わい性のある路地のあかり

⑦ 高層ビル群と元町地区
 高層ビル群と元町地区のあかりが、神戸市街と元町地区のあかりを彩ります。

8 都心市街地からウォーターフロントにかけてのビル群

⑧ 高層ビル群と元町地区
 高層ビル群と元町地区のあかりが、神戸市街と元町地区のあかりを彩ります。

9 街路地のライトアップが驚かせるダイナミックな見通しのビュー

⑨ 高層ビル群と元町地区
 高層ビル群と元町地区のあかりが、神戸市街と元町地区のあかりを彩ります。

10 山並みを背景とした神戸の夜景を海側から堪能する絶景ポイント

⑩ 高層ビル群と元町地区
 高層ビル群と元町地区のあかりが、神戸市街と元町地区のあかりを彩ります。

おすすめルート
 まちなかぐるっと 《まちなかリバーサイドコース》
 所要時間：約1時間10分
 ①名神三宮駅 → ②三宮センターサウス → ③元町商店街 → ④西宮門前 → ⑤中之島 → ⑥明石町前 → ⑦三宮センターサウス → ⑧神戸市役所 → ⑨名神三宮駅

神戸市夜間景観形成実施計画<概要版>

— 都心・ウォーターフロントエリア —

対象エリア全体での各地区が連携した取り組み

夜景景観の魅力を効果的・効率的に高めるためには、それぞれの地区での取り組みとともに、各地区が連携・補完しながら取り組みを進めていくことが重要です。各地区での取り組みをつなげ、相乗効果を発揮できるよう、対象エリア全体での連携した取り組みを進めます。

- ◆ランドマークなどのライトアップ推進
- ◆“ゲート景観”の創出
- ◆まちなかでの視点場づくり
- ◆公共空間の照明改善
- ◆案内サインの改善
- ◆都心・ウォーターフロントを眺める視点場の魅力アップ
- ◆季節や時間などテーマ性を意識した総合的な光の演出
- ◆既存のイベントの連携強化
- ◆「魅力的な夜間景観」の発掘・PR
- ◆魅力的な夜景観光商品の開発
- ◆「夜景観賞バス」などによる回遊性の向上
- ◆情報発信の充実
- ◆事業者、子どもなどへの普及啓発
- ◆夜間景観形成支援制度の充実
- ◆玄関としてのおもてなし
- ◆夜間景観形成基準の検討



神戸らしい夜間景観にさらに磨きをかけ、「デザイン都市・神戸」の都市ブランド力を高めるため、「神戸市夜間景観形成実施計画(都心・ウォーターフロントエリア)」を平成24年3月に策定、R3年3月に改定を行いました。

この実施計画に基づき、“滞在型観光の促進”や“産業・文化の振興”をねらいとしながら、市民・事業者・大学等・行政が連携した取り組みを進めていきます。

これまでの取り組みの現状と課題

神戸市における夜間景観形成の取り組みについては、ポートタワーなどのランドマークや歴史的建造物のライトアップ、「神戸ルミナリエ」に代表される光のイベントの開催などをはじめ、行政だけでなく、民間事業者や地域団体においてもさまざまな取り組みが進められてきました。

これまで実施計画に基づき各地区が連携しながら、良好な神戸らしい夜間景観形成を図ってきましたが、神戸市としての新たな取り組みや周辺自治体の動向、昨今の社会経済情勢などを踏まえ、さらなる良好な夜間景観形成の推進に向けて、例えば「選択と集中により施策を実施」、「情報発信の充実」などのような考え方が求められています。

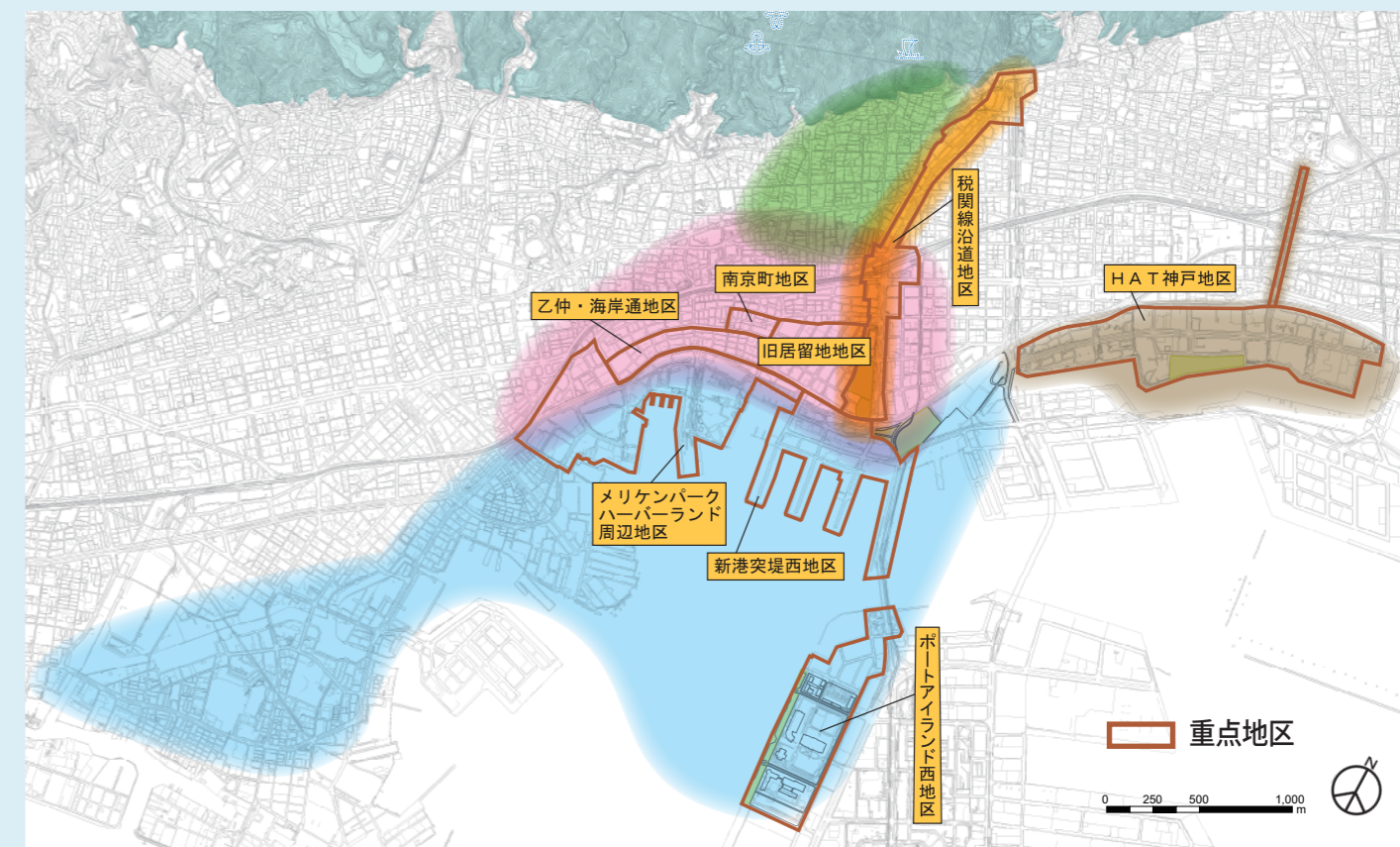
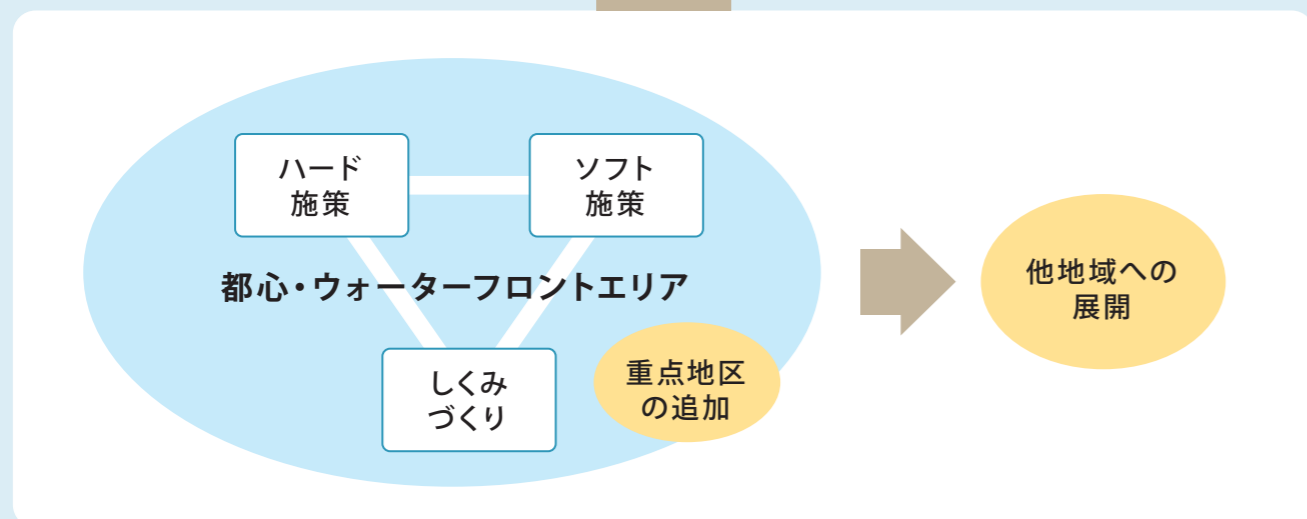
計画の対象エリア

本計画での対象エリアは、市内外からの来訪者が多く、滞在型観光の促進に向けてより効果が高いと思われ、また、神戸の魅力を効果的に発信できると思われるエリアである、三宮からハーバーランドまでのJR以南を中心に、HAT神戸や北野・トアロード・県庁・兵庫運河周辺なども含む「都心・ウォーターフロントエリア」とします。

今後の展開

本計画では8つの重点地区を設定しましたが、今後は、取り組みの必要性や地域での取り組みへの機運などをふまえ、必要に応じて重点地区の追加も検討しながら、目標実現に向けた取り組みを進めていきます。

市民・事業者・大学等・行政の“協創”で
「デザイン都市・神戸」の魅力的な夜間景観の形成



対象エリア

 フラワーロードゾーン	 都心北ゾーン	 ウォーターフロントゾーン
 都心ゾーン	 HAT神戸ゾーン	

重点地区での取り組み（一部抜粋版）

税関線沿道地区

都心を貫く「シンボリックな光」の演出

神戸を代表する道路軸である
フラワーロードを擁する地区

- 光の演出「KOBEライトアップDAY」にあわせ、カラーライトアップがフラワーロードで実施
- 「光のミュージアム」による統一された照明整備が順次実施されており、花・植栽・モニュメント等を夜間の景観資源として活用

〈方針〉

- ▶フラワーロードは「光のミュージアム」の実施により、電球色を基調としつつ、KOBEライトアップDAYを牽引する、メインロードとしてふさわしい光の演出を実現
- ▶三宮クロススクエア部、北側エリアと南側エリアでのそれぞれの特徴を活かした、魅力的な夜間景観形成を推進



旧居留地地区

落ち着いた風格のある「大人の光」の演出

質の高いレトロな建築群や店舗群で構成された、
神戸を代表する落ち着いた風格のある地区

- 建物やショーウィンドウのライトアップも各所で施されており、期間限定の特別色ライトアップイベント開催へ展開
- 地区内の街灯は、順次電球色LED照明に改修
- ナイトマーケットなどの夜間イベントも実施

〈方針〉

- ▶統一した電球色での光の演出をめざし、建物の照明や街路樹なども含め、一体感が出る夜間景観形成を推進
- ▶店舗などから漏れるあかりを活用し、夜のそぞろ歩きが楽しめる、豊かにぎわいのある仕掛けづくり



メリケンパーク・ハーバーランド周辺地区

海辺に映りこむ「きらびやかな光」の演出

ポートタワーや神戸海洋博物館等があり、
みなと神戸の賑わいと活気ある夜景のシンボリックな地区

- 「BE KOBE」モニュメントはライトアップ演出もされ、新たな観光拠点を創出
- 数多くのイベントも開催される賑わいの場

〈方針〉

- ▶入口部での「ゲート景観」の形成、水際へと誘導する光の演出など、そぞろ歩きしたくなる夜間景観形成を推進
- ▶ハーバーランドから中突堤、さらに第一突堤へとつながる楕円形の地形を活かし、上空や海上、対岸から見る魅力的な光を演出
- ▶海辺であるが故、機器が傷みやすいため、充実した維持管理体制を構築



新港突堤西地区

みなと神戸らしい「新しい光」の演出

“新たな創造産業複合ゾーン”として、
みなと神戸の新たな親水空間の創出を推進する地区

- 「デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)」がライトアップされている。「みなとのもり公園」などの新たな魅力スポットも生まれている
- 神戸港の夜景のシンボルの一つである「神戸大橋のライトアップリニューアル」が完成

〈方針〉

- ▶税関線沿道地区と中突堤周辺地区を繋ぐエリアとして、特徴的な楕円突堤を活かし、既存の施設を活用しながら人の流れを生み出し、今後の整備を促進するような取り組みをめざします



南京町地区

活気ある「賑やかな光」の演出

古くから中国雑貨・飲食店・食料品店などが軒を連ねる、
中国風情緒豊かな地区

- あずまやや楼門、長安門のライトアップが改善され、中国風情緒あふれる個性的な夜間景観を形成
- ランタンフェアでの通りへのランタン照明による連続した灯りの演出は、きわめて良好な夜間景観を演出

〈方針〉

- ▶南京町広場を通る東西方向・南北方向の通りを中心に、中国風情緒あふれる個性的な夜間景観の形成に向けた取り組みを推進
- ▶現在の南京町の賑わいを活かしながら、何度でも訪れたいような取り組みを推進



乙仲・海岸通地区

個々の店舗が織り成す「ほのかな光」の演出

おしゃれで個性的な店舗が建ち並び、
レトロな雰囲気を演出する地区

- 主な通りの街路灯が電球色へ整備され、明るく温かみのある通りの演出が実現
- 店の看板照明は、電球色の投光式が多く、柔らかい光がヨーロッパのようなレトロな雰囲気を演出

〈方針〉

- ▶店舗の個性的なあかりを活かし、道路照明の色味を電球色に調整する、足下のほのかな光の演出を推奨するなど、やわらかな一体感を生み出す夜間景観形成を推進
- ▶通りの両端と交差点などは、地区への入口としてだけでなく、他地区へと繋がるような魅力的なゲート景観として光の演出を推進



ポートアイランド西地区

神戸港を一望する新名所のしかけづくり

コンテナバース跡地に大学や公園が整備され、
潤いのある親水空間に生まれ変わった地区

- 「ポーアイしおさい公園」は、神戸港全体を眺める絶好の視点場となっており、夜間の光の演出ポイント「BE KOBE」モニュメントが完成
- 北公園は、神戸大橋のライトアップや対岸のメリケンパークの連続した夜景が望める好ポイント

〈方針〉

- ▶神戸港全体を眺める海側からの夜景の視点場として、また、対岸から見られる視点場として、活用のしかけをおこないながら、さらなる魅力アップを推進



HAT神戸地区

アートを活かした夜のしかけ

ハーバーウォークや県立美術館などがあり、水際空間の
開放性や親水性を活かした、海とアートを感じられる地区

- 彫刻やモニュメント等が、夜間景観の資源として未活用
- 県立美術館から原田の森ギャラリーまでの縦軸「ミュージアムロード」が未整備

〈方針〉

- ▶ハーバーウォーク、なぎさ公園は、照明改善を含めた夜間景観整備を推進
- ▶地区の中心軸である東西線の照明を電球色へ改善
- ▶ポイント箇所のライトアップやJR灘駅前広場の改修により、ミュージアムロード全体の夜間景観整備を推進
- ▶アートを行かした地域連携イベントの企画・実施を推進

